

東海北陸自動車道全通による 経済効果に関する考察

- 岐阜県内企業と観光産業への意識調査より -

平成 21 年 3 月

財団法人 岐阜県産業経済振興センター

目 次

はじめに	1
第1部 東海北陸自動車道全通による岐阜県内企業の意識調査	2
第2部 東海北陸自動車道全通による観光産業への影響に関する調査	8
参考資料	17

この報告書は、岐阜大学地域科学部・三井栄准教授と(財)岐阜県産業経済振興センターが共同で実施した「岐阜県内企業における東海北陸自動車道に関するアンケート調査」と「東海北陸自動車道の全通による観光交流産業への影響に関するアンケート調査」の結果をとりまとめたものである。

前者は、(財)岐阜県産業経済振興センターが四半期毎に行う「岐阜県の景況調査」に合わせてその特別調査として実施し、521社の皆様から回答をいただいた。後者は、岐阜県産業労働観光部観光・ブランド振興課のご協力により岐阜県内の主な宿泊施設と観光施設を対象に実施し、319施設の皆様から回答をいただいた。

調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

財団法人 岐阜県産業経済振興センター

東海北陸自動車道全通による経済効果に関する考察

- 岐阜県内企業と観光産業への意識調査より -

岐阜大学地域科学部 三井 栄¹

はじめに

東海北陸自動車道は、一宮ジャンクション(JCT)(愛知県)と小矢部砺波 JCT(富山県)を結ぶ総延長約 185km の高速道路であり、未開通区間だった飛騨清見ジャンクション(JCT)と白川郷インターチェンジ(IC)間の約 25km が 2008 年 7 月 5 日に完成し、全線開通となった。全通後は、東海と北陸の経済圏が直結し、中部内陸地帯の産業、文化、観光の発展に対する期待は大きい。

「東海北陸自動車道の社会経済効果に関する調査(平成 12 年度)」²では、東海北陸自動車道の延伸に伴い、実際に道路を利用する「利用者効果」以外にも、「波及効果」として生活ポテンシャルの増大、観光へのインパクト、企業生産性の向上、地域の魅力向上、税増収効果などが計測されている。調査時は東海北陸自動車道が部分供用中であり、開通効果が現れている地域がある一方でその効果が一時的であった地域もみられ、道路延伸による通過地点化や通行ルートの変更などの影響も大きいようである。また、道路整備後、地域の社会経済へのインパクトに合わせて必要な対策を講じていく重要性が指摘されている。

また、東海北陸地区 6 県(岐阜・愛知・静岡・福井・石川・富山)の経済同友会では、東海北陸自動車道の全線開通が企業活動・物流・観光などに及ぼす効果と影響について、2008 年 4 月～6 月に会員向け合同アンケート調査³が実施された。6 県における比較では、自社への影響については特に富山と岐阜においては相対的にプラス評価が目立った。また、道路への期待としては「都市と地方の連携」や「観光立国」の回答が多いが、各県によって連携を深めるべき県や今後の課題はかなり異なるようである。

そこで筆者は、(財)岐阜県産業経済振興センターと共同で 2008 年 6 月時点で企業経営者を対象に「岐阜県内企業における東海北陸自動車道に関するアンケート調査」を行った。また、2008 年 12 月時点で岐阜県産業労働観光部観光・ブランド振興課と(財)岐阜県産業経済振興センターと共同で「東海北陸自動車道の全通による観光交流産業への影響に関するアンケート調査」を行った。2 つの調査結果から東海北陸自動車道の全通がもたらす岐阜県内の経済効果への期待感および観光産業への影響について考察した。

本報告書の構成は以下のとおりである。第 1 部では、岐阜県内企業に対するアンケート調査の概観及び、集計結果について考察を行う。第 2 部では、東海北陸自動車道全通の影響が大きいと考えられる観光産業に着目したアンケート調査について考察を行う。

¹ E-mail smitsui@gifu-u.ac.jp

² 「東海北陸自動車道社会経済効果検討報告書」東海総合研究所(平成 12 年度)参照。

³ 「東海北陸道の全線開通に伴うアンケート調査」(平成 20 年度)<http://www.doyukai.org/>参照。

第1部 東海北陸自動車道全通による岐阜県内企業の意識調査

1-1. 東海北陸自動車道に関する意識調査の概要

<調査要領>

- 1)調査目的：東海北陸自動車道全通による岐阜県内の産業経済面における効果の検証
- 2)調査方法：郵送調査
- 3)調査対象：岐阜県に本社を有する企業（事業所・企業統計調査（2001年）の業種別従業者数の構成比を基準として抽出）
- 4)調査依頼数：1000 サンプル
- 5)総回収数：521 サンプル
- 6)調査基準日：2008年6月1日
- 7)調査項目：
 - ビジネスでの利用度
 - 業況への影響
 - 営業圏域・商圈への影響
 - 輸送・移動頻度
 - 雇用への影響
 - 現在または将来の企業戦略への影響
 - 地域経済への影響
 - 地域内の雇用（創出と流出）
 - 地域外企業との競争
 - 地域外から仕事・雇用を確保
 - 地域内の仕事・顧客の流出
 - 岐阜県全体における経済効果

以上12項目から予測される評価は以下のとおりである。

- A) 道路に対する直接的評価： 、 、
- B) 道路による市場拡大効果： 、
- C) 道路による地域間競争： 、
- D) 道路による雇用への影響： 、
- E) 道路による経営に対する期待：
- F) 道路による地域への影響： 、

<集計結果からの考察>

図表 1-1 には全 521 サンプルの集計結果および地域による分類のクロス集計を示した。本調査は、(財)岐阜県産業経済振興センターが四半期毎に行う「岐阜県の景況調査」の特別調査として実施されたため、対象企業の売上や採算の動向、景況感、雇用人員の過不足感、設備投資の実施状況などの情報を合わせて知ることが出来る。そこで、これらの項目別にクロス集計を行ったが、景況感や採算が好転している企業数は少なく標本数が十分ではないため、属性による特性把握が難しく本分析の対象外とした。

図表 1-1 集計結果

質問項目		ビジネスでの利用度					業況への影響					営業圏域・商圈への影響					
各項目における無回答数を除いた比率		標本数	1.大いに利用	2.ある程度利用	3.ほとんど利用しない	4.利用しない	1.プラス	2.ややプラス	3.変らず	4.ややマイナス	5.マイナス	1.拡大	2.やや拡大	3.変らず	4.やや縮小	5.縮小	
全数		521	4.4	33.3	43.6	18.7	4.1	25.4	65.0	3.7	1.8	4.1	22.8	69.5	2.0	1.6	
地域	1.岐阜	208	2.6	31.6	45.4	20.4	2.1	24.1	72.3	1.0	0.5	2.6	20.7	75.6	0.5	0.5	
	2.西濃	90	5.7	23.9	48.9	21.6	8.1	22.1	66.3	1.2	2.3	6.9	20.7	69.0	1.1	2.3	
	3.中濃	87	6.0	35.7	45.2	13.1	2.4	31.7	59.8	3.7	2.4	3.7	22.0	70.7	1.2	2.4	
	4.東濃	79	5.5	30.1	43.8	20.5	8.3	23.6	61.1	5.6	1.4	5.5	28.8	61.6	4.1	0.0	
	5.飛騨	57	5.3	54.4	26.3	14.0	1.8	28.1	50.9	14.0	5.3	3.5	26.3	57.9	7.0	5.3	
質問項目		輸送・移動頻度					雇用への影響					現在又は将来の企業戦略への影響					
各項目における無回答数を除いた比率		標本数	1.増加	2.やや増加	3.変らず	4.やや減少	5.減少	1.プラス	2.ややプラス	3.変らず	4.ややマイナス	5.マイナス	1.なし	2.プラス	3.マイナス		
全数		521	3.9	19.5	74.9	0.4	1.2	1.0	4.5	88.8	4.5	1.0	58.2	36.3	5.5		
地域	1.岐阜	208	2.6	17.5	79.4	0.0	0.5	0.5	5.2	92.2	1.6	0.5	65.4	33.5	1.1		
	2.西濃	90	4.6	21.8	71.3	0.0	2.3	3.5	8.1	87.2	0.0	1.2	60.0	36.3	3.8		
	3.中濃	87	3.7	20.7	72.0	1.2	2.4	0.0	1.3	81.3	15.0	2.5	56.0	36.0	8.0		
	4.東濃	79	8.7	17.4	72.5	1.4	0.0	1.4	1.4	92.9	2.9	1.4	53.0	39.4	7.6		
	5.飛騨	57	1.9	24.1	72.2	0.0	1.9	0.0	5.4	85.7	8.9	0.0	40.4	42.3	17.3		
質問項目		地域経済への影響					地域内の雇用(創出と流出)					地域外企業との競争					
各項目における無回答数を除いた比率		標本数	1.プラス	2.ややプラス	3.変らず	4.ややマイナス	5.マイナス	1.創出増加	2.創出やや増加	3.同程度	4.流出やや増加	5.流出増加	1.激化	2.やや激化	3.変らず	4.やや緩和	5.緩和
全数		521	8.6	45.3	40.4	4.5	1.2	1.9	12.3	77.8	6.7	1.3	3.7	27.6	68.2	0.2	0.2
地域	1.岐阜	208	6.2	48.2	45.1	0.5	0.0	0.6	13.3	83.3	2.8	0.0	3.2	21.1	75.8	0.0	0.0
	2.西濃	90	11.6	43.0	44.2	0.0	1.2	4.7	15.1	75.6	4.7	0.0	1.1	32.2	65.5	1.1	0.0
	3.中濃	87	8.8	48.8	32.5	6.3	3.8	4.1	13.5	66.2	10.8	5.4	6.3	27.8	65.8	0.0	0.0
	4.東濃	79	13.7	34.2	43.8	6.8	1.4	1.4	7.2	78.3	11.6	1.4	0.0	26.4	73.6	0.0	0.0
	5.飛騨	57	5.4	48.2	25.0	19.6	1.8	0.0	9.1	78.2	10.9	1.8	10.5	43.9	43.9	0.0	1.8
質問項目		地域外から仕事・雇用を確保					地域内の仕事・顧客の流出					岐阜県全体における経済効果					
各項目における無回答数を除いた比率		標本数	1.増加	2.やや増加	3.変らず	4.やや減少	5.減少	1.増加	2.やや増加	3.変らず	4.やや減少	5.減少	1.プラス	2.ややプラス	3.変らず	4.ややマイナス	5.マイナス
全数		521	0.6	18.6	77.3	2.9	0.6	1.6	16.0	79.2	2.9	0.2	13.0	51.7	32.0	2.4	0.8
地域	1.岐阜	208	0.0	16.2	81.2	2.6	0.0	0.0	12.0	87.0	1.0	0.0	12.2	49.5	37.8	0.5	0.0
	2.西濃	90	2.3	20.7	75.9	1.1	0.0	1.1	16.1	80.5	2.3	0.0	13.6	52.3	31.8	2.3	0.0
	3.中濃	87	0.0	24.1	70.9	2.5	2.5	3.8	17.7	72.2	5.1	1.3	11.4	60.8	21.5	2.5	3.8
	4.東濃	79	0.0	11.4	87.1	1.4	0.0	0.0	14.1	83.1	2.8	0.0	18.1	44.4	36.1	1.4	0.0
	5.飛騨	57	1.8	24.6	63.2	8.8	1.8	7.0	29.8	56.1	7.0	0.0	10.7	55.4	21.4	10.7	1.8

岐阜県全体における評価

東海北陸自動車道のビジネスでの利用度への予測は、「大いに利用」が4.4%、「ある程度利用」が33.3%、「ほとんど利用しない」が43.6%、「利用しない」が18.7%であった。加えて、業況への影響、輸送・移動頻度はそれぞれ24.0、21.8ポイント⁴ずつプラスがマイナスを上回っており、道路に対する直接的評価への予測はプラスと考えられる。同様に、道路による市場拡大効果は、企業への効果として予測される営業圏域・商圈への影

⁴ 図表1-1の集計結果における(プラス+ややプラス) - (ややマイナス+マイナス)により算出(以下同様)。

響は 23.2 ポイント拡大が縮小を上回り、 地域外から仕事・雇用を確保も 15.7 ポイント増加が減少を上回り、地域への影響もプラスとなっている。

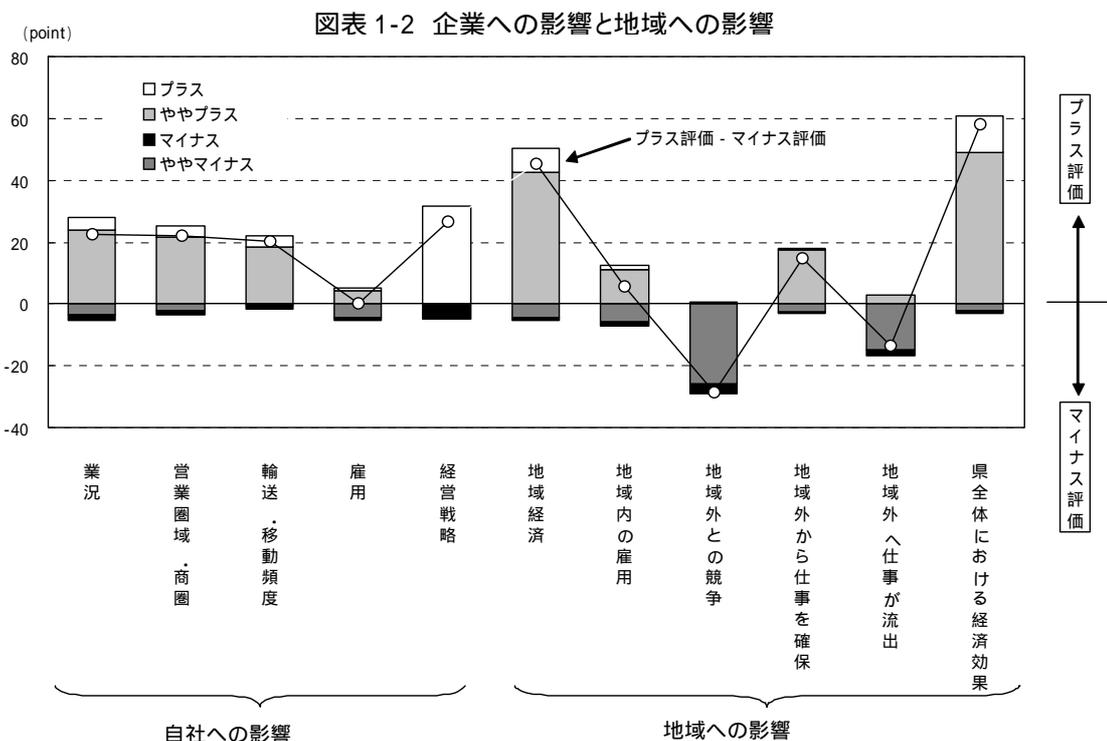
一方、 地域外企業との競争は 30.9 ポイント激化が上回り、 地域内の仕事・顧客の流出についても 14.6 ポイント増加が上回っており、道路による地域間競争は激化するという懸念も大きい。

また、道路による雇用への影響については、 雇用への影響はプラスマイナスが相殺され 88.8%が変わらずと回答しており、 地域内の雇用（創出と流出）は 6.3 ポイント創出が上回るが、全体としては雇用に与えるインパクトは小さいようである。

さらに、 現在または将来の企業戦略への影響については 30.8 ポイントプラスがマイナスを上回り、道路による経営に対する期待も大きいことが示唆された。

地域経済への影響は 48.2 ポイントプラスがマイナスを上回り、道路による地域への影響は大きく、 岐阜県全体における経済効果については 61.5 ポイントプラスがマイナスを上回っており、インターチェンジが建設されている地域のみならず直接的な効果が小さい地域における評価も高く、県全体としての期待感は大きい。

最後に、東海北陸自動車道全通により予測される経済効果について個別企業への影響と地域への影響に2分類して考察する（図表 1-2）。個別企業への影響に関する項目（～）をみると、雇用に関する影響は小さいものの、業況、営業圏域・商圈、輸送・移動頻度、経営戦略への予測についてはプラス評価がマイナス評価を上回った。また、地域への影響に関する項目（～）をみても、地域外企業との競争激化や地域外への仕事の流出といった面でマイナス評価が上回ったものの、地域内での雇用増加や地域外からの仕事の確保などが期待され、地域経済全体への影響としてはプラスの評価がマイナス評価を大幅に上回り、さらに岐阜県全体における経済効果へのプラスの評価も非常に高い。



1-2 . 地域差および観光業に関する考察

地域別の比較 【岐阜、西濃、中濃、東濃、飛騨の5地区で企業を分類】

以下では、図表 1-1 に示した地域ごとに分類した集計結果から地域別に予測される効果を概観する。

岐阜地区は調査項目全般において「変わらず」の回答比率が非常に高いもののマイナス評価は少なくプラス傾向がみられる。西濃地区も同様に「変わらず」の回答比率が高いが、プラス傾向は岐阜地区よりも全般的にやや高い。同じく東濃地区も「変わらず」の回答比率が高いが、業況へのプラス影響、営業圏域・商圈の拡大、輸送・移動頻度の増加などのプラス評価を予測する回答比率についてはいずれも岐阜・西濃地区より5~10%程度上回る。

中濃地区はビジネスでの利用度は「大いに利用」が6.0%、「ある程度利用」が35.7%と両者の回答比率は40%以上になっており、業況へのプラス影響、営業圏域・商圈の拡大、輸送・移動頻度の増加などの回答比率についてはいずれも東濃地区と類似した結果になっており、相対的に高い。同時に地域経済へのプラス影響は55%以上、岐阜県全体における経済効果へのプラス評価も70%以上となり他地域よりも地域経済への評価は高い。

飛騨地区はビジネスでの利用度は「大いに利用」が5.3%、「ある程度利用」が54.4%であり、他の項目についても全体的に「変わらず」の回答比率は相対的に低く、影響は大きいと予測される。業況への影響は30%程度のプラス回答になったもののマイナス回答も20%程度と高い。同じく現在または将来の企業戦略への影響、地域経済への影響、岐阜県全体における経済効果もそれぞれプラス回答は42.3%、53.6%、66.1%と高いがマイナス回答も17.3%、21.4%、12.5%と高い。また、地域外企業との競争が激化への回答比率は54.4%、地域内の仕事・顧客の流出への回答比率は36.8%と高い。すなわち全体としてプラス影響への期待感は大いものの競争の激化などのマイナス影響への懸念も大きいようである。

地域別の一元配置の分散分析

次に、実際に各地域の企業グループ間の回答に差があるかどうかを一元配置の分散分析により統計的に検証する。

そこで、あらかじめ以下の3つの手順に従い、標本の整理及び分散分析を行う。

Step1 質問項目への回答を点数化

プラス効果 5、±0効果 3、マイナス効果 1

ただし、質問項目 ビジネスでの利用度については4段階の点数化

Step2 質問項目に対し1つ以上無回答(0)が含まれる標本を除去

411 サンプルを抽出

Step3 地域別の一元配置の分散分析

以上の手順で得られた一元配置の分散分析では、地域間の比較においては5項目 ビジ

ネスでの利用度、雇用への影響、地域内の雇用(創出と流出)、地域外企業との競争、地域内の仕事・顧客の流出について差が見られた。すなわち、5地域間においては、ビジネスでの利用度といった直接的な道路の利用以外には、道路による雇用への影響(と)と道路による地域間競争の激化(と)に対する企業意識に差が生じているようである。一方、雇用を除く自社への影響(業況への影響、営業圏域・商圈への影響、輸送・移動頻度、現在または将来の企業戦略への影響)と地域経済へのプラス評価が高い項目(地域経済への影響、地域外からの仕事・雇用を確保、岐阜県全体における経済効果)に2つに分類される項目については地域間に有意な差は見られない。

全通による効果への予測について地域差が生じた要因は、全通した影響が最も大きいと予測される飛騨地区では他地域に比して利用度はかなり高く、同時に道路が全通したことにより地域間競争が激化することへの懸念が非常に高いことと考えられる。加えて中濃地区では東海環状自動車道のインターチェンジも立地しており工業団地への企業誘致が活発に行われていることもあり、人材確保への期待感と同時に人材流出への懸念も高く、雇用への影響が他地域の予測とは異なっている可能性もみられる。

観光業における評価

最後に、東海北陸自動車道全通により最も影響が大きいと思われる観光業における評価について考察を行う。今回の調査は事業所・企業統計調査の業種別従業者数の構成比を基準として抽出しているため、観光業をはじめ娯楽サービスへ属する企業数は21サンプルである。そのうちすべての質問項目に回答した企業は16社(全社旅館・ホテルとなった)について、プラス評価をプラスとややプラスの合計、マイナス評価をややマイナスとマイナスの合計とし、集計結果を図表1-3に示した。

企業数が16社と非常に少ないものの、業況への影響、営業圏域・商圈への影響、現在または将来の企業戦略への影響については10社以上がプラス評価をしており、自社へプラス影響への期待感は非常に高いと考えられる。加えて、地域経済への影響と岐阜県全体における経済効果についても10社以上がプラス評価をしており、全通による地域への影響も大きい。ただし、地域外企業との競争については9社がマイナス評価をしており、全通により地域外における旅館やホテルとの競争も激化すると予測される。

図表 1-3 観光業(旅館・ホテル 16社)の集計結果

質問項目	業況への影響	営業圏域・商圈への影響	輸送・移動頻度	雇用への影響	企業戦略への影響	地域経済への影響	地域内の雇用	地域外企業との競争	地域外から仕事・雇用を確保	地域内の仕事・顧客の流出	岐阜県全体における経済効果
プラス評価	10	11	6	0	12	10	0	0	8	0	12
変わらず	4	3	9	15	2	4	12	7	7	11	2
マイナス評価	2	2	1	1	2	2	4	9	1	5	2
プラス評価	62.5	68.75	37.5	0	75	62.5	0	0	50	0	75
変わらず	25	18.75	56.25	93.75	12.5	25	75	43.75	43.75	68.75	12.5
マイナス評価	12.5	12.5	6.25	6.25	12.5	12.5	25	56.25	6.25	31.25	12.5

上段：企業数、下段：比率(単位は%)

1-3. まとめ

本報告書の第 1 部では、東海北陸自動車道の全通がもたらす経済効果について、岐阜県内の企業へのアンケート調査に基づき、その期待感について考察を行った。

岐阜県全体としては東海北陸自動車道全通に対する直接的評価はプラスと考えられ、業況へのプラス影響や輸送・移動頻度の増加が予測されている。ただし、道路による雇用への影響は小さいようである。

また、営業圏域・商圈の拡大のみならず地域外から仕事・雇用を確保するといった道路による市場拡大効果への期待感が高い。一方、地域外企業との競争は激化し、地域内の仕事・顧客の流出が予測され、道路による地域間競争が激化することへの懸念も大きい。

さらに、岐阜県全体における経済効果については「プラス影響が予測される」と回答した企業が約 65%に上り、今後の期待感は大きいことが示唆された。

次に、高速道路がもたらす経済効果については一般的に地域内に直接インターチェンジが立地している、道路へのアクセスがよいなどの地理的条件がもたらす影響が大きい、飛騨、中濃地区において「何らかの影響が予測される」と回答した企業の比率は高い。ただし、中濃はプラス評価をする企業が多いが、全通の効果が最も高いと予測される飛騨ではプラス評価とともにマイナス評価をする企業も相対的に多く、両地域には異なる傾向が見られた。

加えて、東海北陸自動車道全通により最も影響が大きいと思われる観光業(旅館・ホテル)における評価については、企業数が 16 社と非常に少ないものの、業況、営業圏域・商圈、現在または将来の企業戦略といった自社へプラス影響への期待感は非常に高い。また、全通による地域への影響に対する評価も高いが、一方で全通により地域外における旅館やホテルとの競争も激化すると予測される。今後全通による経済効果を評価する上で観光産業における動向や効果の把握は重要であり、第 2 部でさらに考察を行う。

最後に、本調査は東海北陸自動車道が全通する一ヶ月前の時点で行っており、企業の期待感は相対的に高いと考えられる。各地域・各企業に対する東海北陸自動車道全通の経済効果については今後継続的に調査し分析を行う必要がある。また、調査時において景況感や採算が好転している企業数は少なく標本数が十分ではないため、属性による特性把握が難しく本分析の対象外としたが、今期の採算や景況感、投資意欲といった企業経営における認識と道路に対する評価との関連性についても考察が求められる。

第2部 東海北陸自動車道全通による観光産業への影響に関する調査

2-1. 東海北陸自動車道に関する観光産業への意識調査の概要

<調査要領>

- 1)調査目的：東海北陸自動車道全通による岐阜県内の観光産業への影響の検証
- 2)調査方法：郵送調査
- 3)調査対象：岐阜県内の主な宿泊施設と観光施設
- 4)調査依頼数：521 サンプル
- 5)総回収数：319 サンプル
- 6)調査基準日：2008年12月5日
- 7)調査項目：
 - 観光交流産業への影響
 - 業況への影響
 - 利用客（来場者）数
 - 宿泊日数・滞在時間
 - 平均客単価
 - 交流圏・商圈への影響
 - 経営戦略への影響
 - 地域内の観光への影響
 - 県内の他地域との競争
 - 県外の観光地との競争
 - 地域内への観光入込み
 - 地域外への観光客流出
 - 地域経済全体への影響
 - 県の観光交流産業全体への経済効果
 - 観光動向について
 - 利用客数（来場者数）、売上高、平均客単価について
 - 東海北陸自動車道全通前の最近5年程度の推移
 - 今年度の見通しと増減要因
 - 観光客の行動について
 - 昨年の観光客の出発地（居住地）と全通後の見通し

図表 2-1 観光交流産業への影響についての集計結果⁵

業況への影響			利用者(来場者)数			宿泊日数・滞在時間			平均客単価			交流圏・商圈への影響		
	度数	%		度数	%		度数	%		度数	%		度数	%
集計母数	319	100	集計母数	319	100	集計母数	319	100	集計母数	319	100	集計母数	319	100
1 プラス	29	9.1	1 増加	22	6.9	1 増加	3	0.9	1 増加	3	0.9	1 拡大	16	5.0
2 ややプラス	82	25.7	2 やや増加	79	24.8	2 やや増加	26	8.2	2 やや増加	23	7.2	2 やや拡大	82	25.7
3 変らず	150	47.0	3 変らず	151	47.3	3 変らず	221	69.3	3 変らず	220	69.0	3 変らず	167	52.4
4 ややマイナス	28	8.8	4 やや減少	33	10.3	4 やや減少	26	8.2	4 やや減少	38	11.9	4 やや縮小	23	7.2
5 マイナス	20	6.3	5 減少	22	6.9	5 減少	11	3.4	5 減少	10	3.1	5 縮小	7	2.2
無回答	10	3.1	無回答	12	3.8	無回答	32	10.0	無回答	25	7.8	無回答	24	7.5

経営戦略への影響			地域内の観光への影響			県内の他地域との競争			県外の観光地との競争			地域内への観光入込み		
	度数	%		度数	%		度数	%		度数	%		度数	%
集計母数	319	100	集計母数	319	100	集計母数	319	100	集計母数	319	100	集計母数	319	100
1 なし	175	54.9	1 プラス	35	11.0	1 激化	8	2.5	1 激化	9	2.8	1 増加	18	5.6
2 プラス	80	25.1	2 ややプラス	122	38.2	2 やや激化	93	29.2	2 やや激化	84	26.3	2 やや増加	104	32.6
3 マイナス	33	10.3	3 変らず	103	32.3	3 変らず	197	61.8	3 変らず	205	64.3	3 変らず	129	40.4
無回答	31	9.7	4 ややマイナス	30	9.4	4 やや緩和	5	1.6	4 やや緩和	4	1.3	4 やや減少	37	11.6
			5 マイナス	15	4.7	5 緩和	0	0.0	5 緩和	0	0.0	5 減少	15	4.7
			無回答	14	4.4	無回答	16	5.0	無回答	17	5.3	無回答	16	5.0

地域外への観光客流出			地域経済全体への影響			県の観光交流産業全体への経済効果		
	度数	%		度数	%		度数	%
集計母数	319	100	集計母数	319	100	集計母数	319	100
1 増加	10	3.1	1 プラス	18	5.6	1 プラス	50	15.7
2 やや増加	86	27.0	2 ややプラス	104	32.6	2 ややプラス	148	46.4
3 変らず	193	60.5	3 変らず	133	41.7	3 変らず	76	23.8
4 やや減少	11	3.4	4 ややマイナス	36	11.3	4 ややマイナス	15	4.7
5 減少	0	0.0	5 マイナス	10	3.1	5 マイナス	0	0.0
無回答	19	6.0	無回答	18	5.6	無回答	30	9.4

<集計結果からの考察> **岐阜県全体における評価**

図表 2-1 には観光交流産業への影響について全 319 サンプルの集計結果を示した。東海北陸自動車道全通による岐阜県内の宿泊施設・観光施設の業況への影響は約 35%がプラス評価をしており、19.7 ポイント⁶プラスがマイナスを上回った。具体的には、利用者(来場者)数は 14.4 ポイント増加が減少を上回った。また、交流圏・商圈への影響は 21.3 ポイント拡大が縮小を上回り、経営戦略への影響も 14.7 ポイントプラスがマイナスを上回った。一方、宿泊日数・滞在時間、平均客単価についてはそれぞれ-2.5、-6.9 ポイントと減少傾向がみられる。

すなわち、道路全通による宿泊施設・観光施設へ影響は全体としてはプラスとなっており、利便性の向上や移動時間短縮に伴い利用客の増加や交流圏・商圈の拡大傾向がみられる反面、相対的に影響は小さいものの宿泊日数・滞在時間が減少し、平均客単価の減少につながっていると考えられる(図表 2-2 参照)。

次に、地域内の観光への影響は約半数がプラス評価をしており、35.1 ポイントプラスがマイナスを上回り、地域内への観光入込みも約 40%が増加と回答している。同時に、県内の他地域との競争、県外の観光地との競争、地域外への観光客流出についてはそれぞれ-30.1、-27.9、-26.6 ポイントとなっており、30%前後の施設が道路全通により観光業における地域間競争が激化したと回答している。

また、地域経済全体への影響として約 40%がプラス評価をしており、23.8 ポイントプラスがマイナスを上回った。県の観光交流産業全体への経済効果については、60%以上

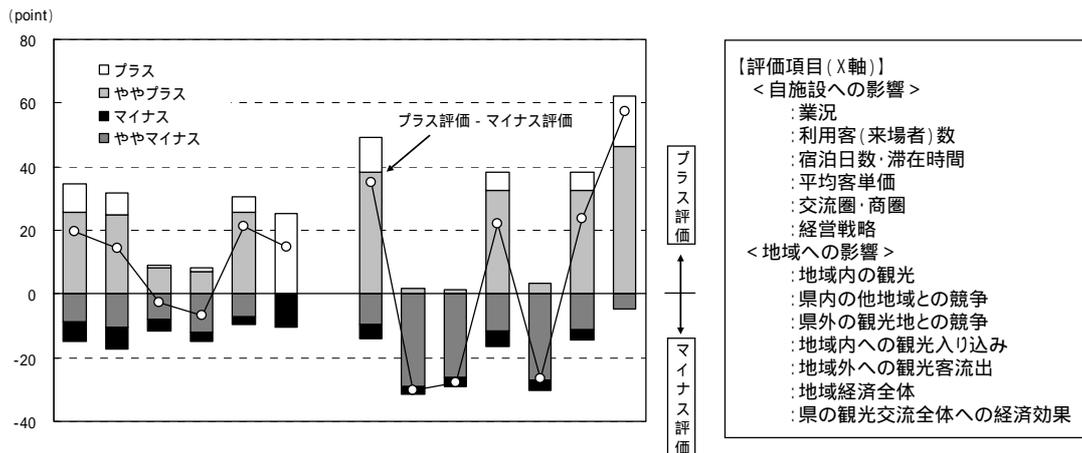
⁵ 20 頁以降に集計結果をまとめて再掲している。図表 2-3、図表 2-4、図表 2-5 も同様である。

⁶ 図表 2-1 における(プラス+ややプラス)-(ややマイナス+マイナス)により算出(以下同様)。

がプラス評価をしている。

以上のことから、道路全通による地域への影響に関する項目（～）では、他地域との競争激化や観光客の流出といった面ではマイナス評価が上回ったものの、地域内への観光入り込みも期待されており、地域内の観光や経済さらには岐阜県の観光交流全体への経済効果はプラス評価が大幅に上回った。

図表 2-2 自施設への影響と地域への影響



次に、観光動向について「貴施設（貴資源）における、東海北陸自動車道全通前の最近5年程度の利用客数（来場者数）、売上高、平均客単価は、おおむねどう推移しましたか」「同じく利用客数（来場者数）、売上高、平均客単価について今年度の見通しはいかがですか」といった質問を行っており、その集計結果を図表 2-3 に示した。

利用客数（来場者数）と売上高については最近増加傾向にある施設は 26.3%、21.3% となっているものの、平均客単価は横ばいが 56.7% と半数以上を占め、伸び悩んでいる様子が伺われる。また、今年度の見通しについてはすべての項目について増加傾向の回答が減り、利用客数（来場者数）、売上高、平均客単価を減少傾向と回答する比率はそれぞれ 37.3%、39.8%、32.3% と高くなっている。

また、今年度の見通しの主な増減要因（複数回答）を見ると、3 項目すべてで「景気・物価」を指摘する比率が 40% を上回り、経済情勢悪化の影響は大きいようである。さらに、利用客数（来場者数）増加傾向の施設の「増加要因」をみると「4. 東海北陸自動車道の全通」への回答は半数以上の 37 施設となった。次いで「5. イベント・キャンペーンの実施」を 18 施設、4 番目に「6. 施設のリニューアル、サービスの充実」を 10 施設が回答しており、自施設による情報発信や投資などが増加要因につながっていると推測できる。また、3 番目は「3. 天候」で 13 施設から回答があった。売上高増加傾向の施設および平均客単価増加傾向の施設についても施設数は異なるものの「増加要因」の順位は 1 位、2 位は同じとなり、3 位、4 位が入れ替わった。一方、利用客数（来場者数）減少傾向の施設の「減少要

因」は「1.景気・物価」を94施設が回答し圧倒的に高い。次いで「4.東海北陸自動車道の全通」と31施設が回答しており、東海北陸自動車道の全通による競争の激化がマイナス影響として現れているようである。「3.天候」「8.近隣施設の開業」をそれぞれ24施設、22施設が回答している。売上高減少傾向の施設の「減少要因」の順位は同じとなった。平均客単価減少傾向の施設の「減少要因」についても「1.景気・物価」が圧倒的に多いものの2番目には「2.嗜好の変化」が18施設から回答され、近年、消費者に低価格志向が生じていることや多様化する顧客ニーズへの対応の難しさを指摘していると考えられる。

図表 2-3 観光動向についての集計結果

Q2 東海北陸自動車道全通前の最近5年程度のおおむねの推移

利用客数(来場者数)			売上高			平均客単価		
	度数	%		度数	%		度数	%
集計母数	319	100	集計母数	319	100	集計母数	319	100
1 増加傾向	84	26.3	1 増加傾向	68	21.3	1 増加傾向	31	9.7
2 減少傾向	93	29.2	2 減少傾向	100	31.3	2 減少傾向	72	22.6
3 横ばい	126	39.5	3 横ばい	117	36.7	3 横ばい	181	56.7
無回答	16	5.0	無回答	34	10.7	無回答	35	11.0

Q3 -2今年度の見通しの主な増減要因

	利用客数		売上高		客単価	
	度数	%	度数	%	度数	%
集計母数	319	100	319	100	319	100
1 景気・物価	138	43.3	159	49.8	155	48.6
2 嗜好の変化	22	6.9	28	8.8	36	11.3
3 天候	62	19.4	42	13.2	26	8.2
4 東海北陸自動車道の全通	76	23.8	61	19.1	34	10.7
5 イベント・キャンペーンの実施	28	8.8	16	5.0	10	3.1
6 リニューアル、サービスの充実	16	5.0	21	6.6	16	5.0
7 料金の見直し	2	0.6	8	2.5	16	5.0
8 近隣施設の開業	30	9.4	21	6.6	15	4.7
9 その他	19	6.0	12	3.8	9	2.8
10 わからない	4	1.3	2	0.6	5	1.6
無回答	69	21.6	84	26.3	105	32.9

Q3 今年度の見通し

利用客数(来場者数)			売上高			平均客単価		
	度数	%		度数	%		度数	%
集計母数	319	100	集計母数	319	100	集計母数	319	100
1 増加傾向	67	21.0	1 増加傾向	51	16.0	1 増加傾向	23	7.2
2 減少傾向	119	37.3	2 減少傾向	127	39.8	2 減少傾向	103	32.3
3 横ばい	119	37.3	3 横ばい	109	34.2	3 横ばい	159	49.8
無回答	14	4.4	無回答	32	10.0	無回答	34	10.7

最後に、観光客の行動として昨年の観光客の出発地（居住地）と全通後の見通しについての集計結果を図表 2-4 に示した。訪れた観光客の出発地（居住地）については昨年および全通後の見通しともに、1位は県内で2位と合わせると70%近くを占め、次いで愛知県も1位2位の順位は逆転しているが約75%に上る。また、昨年から全通後の変化として訪れた観光客の出発地（居住地）として回答があった1位から5位までの合計数に注目すると、全体的に減少傾向が見られる中、富山県が47から72と1.53倍、石川県が25から44と1.76倍、福井県は27から34と1.25倍、北陸三県では99から150と1.5倍に増加しており、やはり北陸圏とのアクセスが向上した影響は大きいようである。

図表 2-4 観光客の行動についての集計結果

Q4 訪れた観光客の出発地(居住地)

	昨年										全通後											
	1位		2位		3位		4位		5位		合計	1位		2位		3位		4位		5位		合計
	度数	%		度数	%																	
集計母数	319	100	319	100	319	100	319	100	319	100	246	319	100	319	100	319	100	319	100	319	100	238
1 県内	154	48.3	63	19.7	14	4.4	10	3.1	5	1.6	246	153	48.0	58	18.2	17	5.3	7	2.2	3	0.9	238
2 愛知	91	28.5	150	47.0	20	6.3	1	0.3	1	0.3	263	89	27.9	148	46.4	17	5.3	4	1.3	1	0.3	259
3 三重	1	0.3	10	3.1	77	24.1	34	10.7	19	6.0	141	0	0.0	10	3.1	75	23.5	25	7.8	17	5.3	127
4 長野	0	0.0	6	1.9	15	4.7	7	2.2	11	3.4	39	0	0.0	5	1.6	14	4.4	8	2.5	10	3.1	37
5 富山	2	0.6	6	1.9	8	2.5	13	4.1	18	5.6	47	4	1.3	8	2.5	21	6.6	22	6.9	17	5.3	72
6 石川	0	0.0	1	0.3	5	1.6	8	2.5	11	3.4	25	2	0.6	2	0.6	5	1.6	11	3.4	24	7.5	44
7 福井	0	0.0	0	0.0	8	2.5	5	1.6	14	4.4	27	0	0.0	1	0.3	7	2.2	10	3.1	16	5.0	34
8 関東地方	7	2.2	14	4.4	24	7.5	36	11.3	33	10.3	114	4	1.3	14	4.4	25	7.8	29	9.1	28	8.8	100
9 関西地方	17	5.3	18	5.6	51	16.0	65	20.4	25	7.8	176	14	4.4	18	5.6	42	13.2	59	18.5	26	8.2	159
10 その他	5	1.6	2	0.6	11	3.4	10	3.1	30	9.4	58	6	1.9	2	0.6	8	2.5	13	4.1	26	8.2	55
無回答	42	13.2	49	15.4	86	27.0	130	40.8	152	47.6	1136	47	14.7	53	16.6	88	27.6	131	41.1	151	47.3	1125

図表 2-5 宿泊施設・観光施設の属性別集計結果

質問項目	標本数	業況への影響					利用者(来場者)数					宿泊日数・滞在時間					平均客単価				
		1.プラス	2.ややプラス	3.変わらず	4.ややマイナス	5.マイナス	1.増加	2.やや増加	3.変わらず	4.やや減少	5.減少	1.増加	2.やや増加	3.変わらず	4.やや減少	5.減少	1.上昇	2.やや上昇	3.変わらず	4.やや低下	5.低下
全数	227	9.7	28.2	46.7	9.3	6.2	7.5	26.0	48.0	11.5	7.0	1.3	10.6	75.8	8.4	4.0	0.9	8.4	75.3	12.8	2.6
地域																					
1.岐阜	31	12.9	29.0	51.6	3.2	3.2	9.7	32.3	51.6	3.2	3.2	3.2	19.4	71.0	6.5	0.0	6.5	6.5	80.6	6.5	0.0
2.西濃	37	0.0	21.6	73.0	5.4	0.0	0.0	16.2	78.4	5.4	0.0	0.0	0.0	94.6	5.4	0.0	0.0	5.4	89.2	5.4	0.0
3.中濃	53	18.9	43.4	28.3	7.5	1.9	13.2	41.5	26.4	17.0	1.9	0.0	18.9	66.0	13.2	1.9	0.0	9.4	71.7	15.1	3.8
4.東濃	43	2.3	30.2	53.5	7.0	7.0	4.7	27.9	46.5	16.3	4.7	0.0	7.0	79.1	9.3	4.7	0.0	7.0	74.4	18.6	0.0
5.飛騨	44	13.6	11.4	47.7	18.2	9.1	11.4	9.1	52.3	11.4	15.9	4.5	4.5	75.0	9.1	6.8	0.0	11.4	68.2	15.9	4.5
6.下呂	19	5.3	31.6	21.1	15.8	26.3	0.0	26.3	36.8	10.5	26.3	0.0	15.8	68.4	0.0	15.8	0.0	10.5	68.4	10.5	10.5
種別																					
1.自然	19	0.0	36.8	47.4	5.3	10.5	5.3	26.3	47.4	15.8	5.3	0.0	15.8	68.4	10.5	5.3	0.0	5.3	68.4	21.1	5.3
2.文化・歴史	23	8.7	26.1	52.2	4.3	8.7	8.7	26.1	52.2	4.3	8.7	4.3	8.7	78.3	4.3	4.3	0.0	17.4	65.2	13.0	4.3
3.産業観光	14	28.6	14.3	28.6	21.4	7.1	21.4	21.4	28.6	14.3	14.3	7.1	7.1	71.4	7.1	7.1	0.0	7.1	71.4	21.4	0.0
4.4季・カレ	24	4.2	50.0	33.3	8.3	4.2	4.2	41.7	45.8	0.0	8.3	0.0	12.5	75.0	8.3	4.2	0.0	0.0	91.7	8.3	0.0
5.温泉	31	6.5	12.9	64.5	6.5	9.7	3.2	12.9	64.5	19.4	9.7	0.0	3.2	90.3	6.5	0.0	0.0	3.2	90.3	6.5	0.0
6.買い物物	24	4.2	16.7	41.7	33.3	4.2	0.0	25.0	33.3	37.5	4.2	0.0	0.0	70.8	25.0	4.2	0.0	12.5	62.5	37.5	8.3
7.行事・祭事	8	12.5	25.0	62.5	0.0	0.0	0.0	25.0	62.5	12.5	0.0	0.0	12.5	75.0	12.5	0.0	12.5	12.5	62.5	12.5	0.0
8.イベント	24	8.3	45.8	45.8	0.0	0.0	12.5	33.3	50.0	4.2	0.0	4.2	20.8	70.8	0.0	4.2	4.2	8.3	83.3	4.2	0.0
9.旅館・ホテル	60	15.0	26.7	45.0	6.7	6.7	10.0	25.0	51.7	5.0	8.3	0.0	13.3	75.0	6.7	5.0	0.0	11.7	78.3	6.7	3.3
全通前の観光動向																					
1.増加傾向	64	31.3	45.3	21.9	0.0	1.6	26.6	46.9	23.4	0.0	3.1	4.7	20.3	73.4	0.0	1.6	3.1	15.6	76.6	4.7	0.0
2.減少傾向	78	1.3	15.4	42.3	24.4	16.7	0.0	15.4	39.7	26.9	17.9	0.0	5.1	64.1	20.5	10.3	0.0	5.1	61.5	25.6	7.7
3.横ばい	85	1.2	27.1	69.4	2.4	0.0	0.0	20.0	74.1	5.9	0.0	0.0	8.2	88.2	3.5	0.0	0.0	5.9	87.1	7.1	0.0
売上高																					
1.増加傾向	54	27.8	46.3	24.1	0.0	1.9	24.1	44.4	25.9	1.9	3.7	3.7	20.4	75.9	0.0	0.0	1.9	22.2	72.2	3.7	0.0
2.減少傾向	86	1.2	18.6	44.2	20.9	15.1	1.2	15.1	43.0	24.4	16.3	1.2	3.5	65.1	20.9	9.3	1.2	4.7	60.5	26.7	7.0
3.横ばい	87	6.9	26.4	63.2	3.4	0.0	3.4	25.3	66.7	4.6	0.0	0.0	11.5	86.2	1.1	1.1	0.0	3.4	92.0	4.6	0.0
平均客単価																					
1.増加傾向	22	18.2	40.9	27.3	13.6	0.0	9.1	45.5	27.3	13.6	4.5	0.0	13.6	86.4	0.0	0.0	4.5	50.0	45.5	0.0	0.0
2.減少傾向	57	1.8	22.8	43.9	21.1	10.5	1.8	17.5	43.9	24.6	12.3	0.0	3.5	61.4	26.3	8.8	0.0	0.0	54.4	36.8	8.8
3.横ばい	148	14.5	28.4	50.7	4.1	5.4	5.5	26.4	52.7	6.1	5.4	2.0	12.8	79.7	2.7	2.7	0.7	5.4	87.8	5.4	0.7
今年度の見直し																					
1.増加傾向	91	0.0	25.3	42.9	18.7	13.2	0.0	19.8	40.7	24.2	15.4	0.0	5.5	67.0	19.8	7.7	0.0	6.6	61.5	26.4	5.5
2.減少傾向	86	5.8	20.9	68.6	2.3	2.3	3.5	17.4	73.3	3.5	2.3	0.0	7.0	90.7	1.2	1.2	0.0	5.8	90.7	2.3	1.2
売上高																					
1.増加傾向	39	35.9	48.7	12.8	2.6	0.0	28.2	53.8	15.4	2.6	0.0	5.1	25.6	69.2	0.0	0.0	2.6	17.9	76.9	2.6	0.0
2.減少傾向	101	1.0	24.8	46.5	15.8	11.9	1.0	20.8	46.5	17.8	13.9	0.0	5.0	70.3	17.8	6.9	0.0	5.9	64.4	24.8	5.0
3.横ばい	87	8.0	23.0	62.1	4.6	2.3	5.7	19.5	64.4	8.0	2.3	1.1	10.3	85.1	1.1	2.3	1.1	6.9	87.4	3.4	1.1
平均客単価																					
1.増加傾向	16	31.3	43.8	18.8	6.3	0.0	12.5	56.3	18.8	6.3	6.3	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0	6.3	50.0	43.8	0.0	0.0
2.減少傾向	81	4.9	27.2	45.7	13.6	8.6	4.9	24.7	44.4	16.0	9.9	1.2	3.7	69.1	21.0	4.9	1.2	4.9	60.5	27.2	6.2
3.横ばい	130	10.0	26.9	50.8	6.9	5.4	8.5	23.1	53.8	9.2	5.4	1.5	13.1	80.0	1.5	3.8	0.0	5.4	88.5	5.4	0.8

質問項目	標本数	交通圏・商圏への影響					経営戦略への影響					地域内の観光への影響					県内の他地域との競争					県外の観光地との競争				
		1.拡大	2.やや拡大	3.変わらず	4.やや縮小	5.縮小	1.プラス	2.マイナ	3.なし	4.やや	5.縮小	1.プラス	2.やや	3.変わらず	4.やや	5.マイ	1.激化	2.やや	3.変わらず	4.やや	5.緩和	1.激化	2.やや	3.変わらず	4.やや	5.緩和
全数	227	6.2	28.6	55.9	6.6	2.6	27.3	11.9	60.8	11.9	41.4	32.6	9.7	4.4	2.2	33.0	62.6	2.2	0.0	2.6	30.0	65.6	1.8	0.0		
地域																										
1.岐阜	31	6.5	32.3	58.1	3.2	0.0	16.1	6.5	77.4	12.9	51.6	32.3	3.2	0.0	3.2	25.8	71.0	0.0	0.0	3.2	22.6	74.2	0.0	0.0		
2.西濃	37	0.0	13.5	83.8	0.0	2.7	10.8	5.4	83.8	2.7	24.3	67.6	2.7	2.7	8.1	16.2	75.0	0.0	0.0	2.7	13.5	83.8	0.0	0.0		
3.中濃	53	7.5	35.8	49.1	5.7	1.9	30.2	11.3	58.5	18.9	58.5	13.2	7.5	1.9	0.0	32.1	62.3	5.7	0.0	0.0	30.2	66.0	3.8	0.0		
4.東濃	43	2.3	34.9	51.2	7.0	4.7	37.2	14.0	48.8	4.7	46.5	37.2	7.0	4.7	0.0	30.2	67.4	2.3	0.0	4.7	27.9	67.4	0.0	0.0		
5.飛騨	44	13.6	25.0	50.0	11.4	0.0	31.8	11.4	56.8	20.5	20.5	34.1	20.5	4.5	2.3	38.6	59.1	0.0	0.0	2.3	40.9	54.5	2.3	0.0		
6.下呂	19	5.3	26.3	42.1	15.8	10.5	36.8	31.6	31.6	5.3	47.4	5.3	21.1	21.1	0.0	73.7	21.1	5.3	0.0	5.3	52.6	36.8	5.3	0.0		
種別																										
1.自然	19	0.0	26.3	63.2	0.0	10.5	10.5	21.1	68.4	0.0	47.4	31.6	10.5	10.5	5.3	36.8	57.9	0.0	0.0	5.3	26.3	68.4	0.0	0.0		
2.文化・歴史	23	4.3	30.4	65.2	0.0	0.0	26.1	4.3	69.6	17.4	34.8	43.5	0.0	4.3	4.3	21.7	73.9	0.0	0.0	4.3	21.7	73.9	0.0	0.0		
3.産業観光	14	14.3	35.7	28.6	14.3	7.1	28.6	14.3	57.1	14.3	35.7	28.6	14.3	7.1	0.0	21.4	78.6	0.0	0.0	0.0	14.3	85.7	0.0	0.0		
4.4季・カレ	24	4.2	41.7	45.8	8.3	0.0	33.3	8.3	58.3	12.5	50.0	25.0	8.3	4.2	0.0	37.5	58.3	4.2	0.0	0.0	33.3	58.3	8.3	0.0		
5.温泉	31	3.2	19.4	71.0	3.2	3.2	25.8	9.7	64.3	3.2	35.5	51.6	6.5	3.2	0.0	45.2	51.6	3.2	0.0	0.0	38.7	61.3	3.2	0.0		
6.買い物物	24	0.0	33.3	41.7	25.0	0.0	25.0	29.2	45.8	0.0	33.3	33.3	29.2	4.2	0.0	25.0	70.8	4.2	0.0	0.0	25.0	75.0	0.0	0.0		
7.行事・祭事	8	0.0	37.5	62.5	0.0	0.0	0																			

2-2．宿泊施設と観光施設の属性に関する考察

次に、宿泊施設と観光施設について地域や種別、および全通前後の各施設の業況に関する回答別といった属性別の特徴について考察するため、質問項目に対し1つ以上無回答(0)が含まれる標本を除去した。その結果、すべての質問項目に回答している227サンプルを抽出し、図表2-5に集計結果を示す。以下ではこの表に基づき施設属性別集計結果を概観する。

・地域別の比較 【岐阜、西濃、中濃、東濃、飛騨、下呂の6地区で施設を分類】

岐阜地区は調査項目全般において「変わらず」の回答比率が高いもののプラス傾向であり、宿泊日数・滞在時間、平均客単価についてもプラスが上回っている。東濃地区も同様に「変わらず」の回答比率が高いが、マイナス傾向は岐阜地区よりも全般的にやや高い。

西濃地区は他地域に比して「変わらず」の回答比率が非常に高く、東海北陸自動車道沿線からはずれているため、業況への影響についても70%以上が「変わらず」と回答しており、全通の影響は小さいようである。

中濃地区は、業況への影響は60%以上の施設がプラス評価をしており、利用客(来場者)数についても半数以上が増加と回答している。平均客単価についてはマイナス評価が多少上回るものの、宿泊日数・滞在時間、交流圏・商圈、経営戦略ともにプラス評価が高い。地域内の観光への影響は約80%がプラス評価をしており、地域内への観光入込みも70%近くが増加と回答している。また、地域経済全体への影響に対するプラス評価も非常に高く、東海北陸自動車道と東海環状自動車道の結節点であることがプラス要因と考えられる。

飛騨地区は、業況への影響は「変わらず」の回答比率が約半数で、残り約25%ずつがプラス・マイナス評価に分かれている。交流圏・商圈については約40%が拡大と回答しているものの利用客(来場者)数、平均客単価、宿泊日数・滞在時間についてはいずれもマイナス評価も目立ち、他地域との競争の激化を指摘する比率が高い。また、下呂地区については、業況への影響は「変わらず」の回答比率が低く何らかの影響を受けているものの、プラス・マイナス評価ともに40%前後の回答比率となっており、施設によって明暗を分けている様子が伺われる。特に県内、県外ともに他地域との競争についてはそれぞれ73.7%、57.9%が激化していると回答しており、地域経済全体への影響も他地区に比してマイナス評価が目立つ。

・種別ごとの比較 【自然、文化・歴史、産業観光、スポーツ・レクリエーション、温泉、買い物、行事・祭事、イベント、旅館・ホテルの9種別⁷で施設を分類】

スポーツ・レクリエーション、イベントに属する施設は半数以上、産業観光、旅館・ホテ

⁷ 「旅館・ホテル」を除く種別は、岐阜県観光・ブランド振興課「岐阜県観光レクリエーション動態調査」における分類による。

ルは 40%以上が、業況への影響をプラスと評価している。これらの施設においては、利用客（来場者）数の増加は 35～45%の回答比率になっており、交流圏・商圈も拡大への回答が高い。また、地域内の観光への影響も半数以上がプラス評価をしており、県の観光交流産業全体への経済効果についても 57～75%の施設がプラス回答をしている。一方で、他地域との競争は激化しているようで、特に旅館・ホテルは約 40%が他地域との競争の激化や観光客の流出を指摘している。

文化・歴史、温泉、行事・祭事に属する施設は、業況への影響について「変わらず」と半数以上が評価している。利用客（来場者）数、宿泊日数・滞在時間についても「変わらず」の評価が相対的に高く、地域内の観光への影響、県の観光交流産業全体への経済効果についてはプラス評価が高い。

買い物に属する施設は、業況への影響についてマイナスの評価を 40%近くがしており、利用客（来場者）数の減少、平均客単価の低下への回答比率が相対的に高く、地域内の観光への影響もマイナス評価がプラス評価を上回っている。地域内への観光入込みを減少と回答する比率が高く、県の観光交流産業全体への経済効果はプラス評価が高いものの地域経済全体への影響はマイナス評価が 30%以上の回答比率となっている。

観光動向の比較【増加傾向、減少傾向、横ばいの 3 回答で施設を分類】

先述したとおり、本調査では観光動向について「貴施設（貴資源）における、東海北陸自動車道全通前の最近 5 年程度の利用客数（来場者数）、売上高、平均客単価は、おおむねどう推移しましたか」「同じく利用客数（来場者数）、売上高、平均客単価について今年度の見通しはいかがですか」といった質問を行っており、その回答を各施設における「全通前の業況」「全通後の業況」と捉えることができる。

全通前の業況として利用客数（来場者数）、売上高、平均客単価ともに増加傾向と回答した施設については、業況への影響は 60～85%がプラス評価と回答している。利用客数（来場者数）は半数以上がプラス評価、宿泊日数・滞在時間や平均客単価についてもマイナス評価をする比率は非常に低く、経営戦略への影響もプラスと回答する比率が 45～55%と非常に高い。地域内への観光の影響、地域経済全体への影響はそれぞれ 60～80%以上がプラス評価をしており、県の観光交流産業全体への経済効果をプラスとする回答比率はいずれも 75%以上となっている。

全通前の業況として利用客数（来場者数）、売上高、平均客単価ともに減少傾向と回答した施設については、業況への影響はマイナス評価がプラス評価を上回っており、利用客数（来場者数）、宿泊日数・滞在時間、平均客単価についてもマイナス評価の回答比率は 30～40%に上る。他地域との競争の激化への回答も同じく約 40%となり、経営戦略への影響、地域内への観光の影響、地域経済全体への影響についてもいずれもマイナス評価が目立つ。

全通前の業況として利用客数（来場者数）、売上高、平均客単価ともに横ばいと回答した施設については、予測どおりいずれの項目についても「変わらず」の回答比率が高いが、

相対的にはプラス評価がマイナス評価を上回っているようである。

全通後の業況については全通前とほぼ同様の傾向がみられる。ただし、利用客数（来場者数）、売上高の今年度の見通しは「増加傾向」と回答した施設はそれぞれ 50、39 へ減少しており（全通前の施設数は 64、54）、「減少傾向」の回答が「横ばい」を上回っている。平均客単価については全通前も今年度の見通しも半数以上が「横ばい」と回答している。

一元配置の分散分析

次に、実際に地域や種別、および全通前後において各施設の業況が異なる宿泊施設と観光施設間の回答に差があるかどうかを一元配置の分散分析により統計的に検証する。

一元配置の分散分析では、地域間の比較においては7項目 業況への影響、 利用客（来場者）数、 経営戦略への影響、 地域内の観光への影響、 県内の他地域との競争、 地域内への観光入込み、 地域経済全体への影響について差が見られた。これらの項目ではいずれもプラス評価が高い中濃地区や岐阜地区、プラス評価も高いがマイナス評価も相対的に高い飛騨地区や下呂地区、影響の少ない西濃地区といった傾向がみられる。

種別による比較においては2項目 平均客単価、 地域内の観光への影響について差が見られた。平均客単価については温泉やスポーツ・レクリエーションの施設では「変わらず」の比率が90%に上る一方、買い物施設の施設ではマイナス評価が40%以上、 地域内の観光への影響についても施設の種別によって評価の動向がかなり異なっている。

全通前の観光動向の比較においては利用客数（来場者数）売上高、平均客単価それぞれ12、13、8項目において差が見られた。利用客数（来場者数）売上高が増加傾向と回答した施設と利用客数（来場者数）売上高が減少傾向と回答した施設とでは各質問項目への評価が大きく異なった。全通後の動向の比較においても利用客数（来場者数）売上高、平均客単価それぞれ11、10、8項目において顕著な差が見られた。

図表 2-4 一元配置の分散分析結果

一元配置分散分析： 各グループ間の差	施設 区分 分数	調査項目												有意 差の 項目 数	
		業 況 へ の 影 響	利 用 客 数 （ 来 場 者 数 ）	宿 泊 ・ 滞 在 時 間	平 均 客 単 価	交 流 圏 へ の 影 響	経 営 戦 略 へ の 影 響	地 域 内 へ の 影 響	県 内 の 他 地 域 と の 競 争	県 外 地 と の 競 争	地 域 内 へ の 入 込 み	地 域 外 へ の 流 出	地 域 経 済 全 体 へ の 影 響		県 の 観 光 交 流 全 体
地 域	6														7
種 別	9														2
全通前 の観光 動向	利用客数	3													12
	売上高	3													13
	平均客単価	3													8
今年度 見通し	利用客数	3													11
	売上高	3													10
	平均客単価	3													8

:5%有意

:10%有意

2-3. まとめ

本報告書では、東海北陸自動車道の全通がもたらす経済効果について、岐阜県内の観光交流産業の施設へのアンケート調査に基づき、その評価について考察を行った。

東海北陸自動車道の全通による宿泊施設・観光施設への影響は全体としてはプラスとなっており、利便性の向上や移動時間短縮に伴い利用客の増加や交流圏・商圈の拡大傾向がみられる反面、相対的に影響は小さいものの宿泊日数・滞在時間が減少し、平均客単価の減少につながっていると考えられる。

地域内の観光への影響に対するプラス評価は高く、地域内への観光入込みも約40%が増加と回答しており、岐阜県の観光交流全体への経済効果については、60%以上がプラスと評価している。ただし、全通により観光業における地域間競争は激化している。

また、訪れた観光客の出発地(居住地)については昨年および全通後の見直しともに、1位は県内で2位と合わせると70%近くを占め、次いで愛知県も1位2位の順位は逆転しているが約75%に上る。ただし、昨年から全通後の変化として訪れた観光客の出発地(居住地)への回答は北陸三県(富山・石川・福井)が1.5倍に増加しており、やはり北陸圏とのアクセスが向上した影響は大きいようである。

次に、道路全通の経済効果については地域内にインターチェンジが立地しているといった地理的条件がもたらす影響が大きく、飛騨、中濃地区では「影響を受ける」と回答した企業の比率は高い。ただし、中濃地区においてはプラス評価をする企業が多いが、飛騨や下呂ではプラス評価とともにマイナス評価をする施設も相対的に多く、両地域には異なる傾向が見られ、第1部の岐阜県内企業の意識調査と類似した結果となった。

さらに、今回の観光動向の質問項目から把握された全通前の観光動向を示す利用客数(来場者数)、売上高、平均客単価といった施設の経営状況に関する認識は、全通後の業況や地域への経済効果に対する評価にも影響を与えている。

ただし、本調査は東海北陸自動車道の全通直後に行っており、キャンペーンや広報活動も積極的に行われ観光客の動向が堅調であったことがプラスに影響している可能性も高い。また一方で、経済情勢が急激に悪化したあおりで個別の施設にマイナスの影響が大きくでている懸念もあるため、岐阜県内の観光交流産業に対して東海北陸自動車道全通がもたらす効果については今後継続的に調査し分析を行うべきであろう。

参考資料 1

岐阜県内企業における東海北陸自動車道に関するアンケート

1-1 調査の概要

調査方法	郵送調査
調査対象	岐阜県に本社を有する企業 (事業所・企業統計調査(平成13年)の業種別従業者数の構成比を基準として抽出)
調査依頼数	1000サンプル
総回収数	521サンプル
調査時点	2008年06月01日

1-2 回答企業の属性

F1 業種

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	食品	16	3.1
2	繊維・衣服	16	3.1
3	木材・家具	11	2.1
4	紙・パルプ・印刷	17	3.3
5	化学・プラスチック	21	4.0
6	窯業土石	21	4.0
7	金属製品	20	3.8
8	機械	50	9.6
9	建設	56	10.7
10	運輸・通信	27	5.2
11	卸売	39	7.5
12	小売	66	12.7
13	飲食店	12	2.3
14	サービス(余暇関連)	21	4.0
15	サービス(企業関連外)	128	24.6

F2 地区

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	岐阜地区	208	39.9
2	西濃地区	90	17.3
3	中濃地区	87	16.7
4	東濃地区	79	15.2
5	飛騨地区	57	10.9

F3 従業員規模

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	1～19人	258	49.5
2	20～49人	134	25.7
3	50～99人	57	10.9
4	100～299人	57	10.9
5	300人以上	15	2.9

1-3 全体集計結果

Q1 ビジネスでの利用度 [SA]

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	大いに利用	22	4.2
2	ある程度利用	166	31.9
3	ほとんど利用しない	217	41.7
4	利用しない	93	17.9
	無回答	23	4.4

Q2 業況への影響 [SA]

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	プラス	20	3.8
2	ややプラス	125	24.0
3	変らず	320	61.4
4	ややマイナス	18	3.5
5	マイナス	9	1.7
	無回答	29	5.6

Q3 営業圏域・商圏への影響 [SA]

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	拡大	20	3.8
2	やや拡大	112	21.5
3	変らず	342	65.6
4	やや縮小	10	1.9
5	縮小	8	1.5
	無回答	29	5.6

Q4 輸送・移動頻度 [SA]

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	増加	19	3.6
2	やや増加	95	18.2
3	変らず	364	69.9
4	やや減少	2	0.4
5	減少	6	1.2
	無回答	35	6.7

Q5 雇用への影響 [SA]

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	プラス	5	1.0
2	ややプラス	22	4.2
3	変らず	430	82.5
4	ややマイナス	22	4.2
5	マイナス	5	1.0
	無回答	37	7.1

Q6 現在または将来の経営戦略への影響 [SA]

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	なし	263	50.5
2	プラス	164	31.5
3	マイナス	25	4.8
	無回答	69	13.2

Q6-2 プラスまたはマイナスの内容 [MA]

		度数	%
集計母数		189	100.0
1	設備投資	5	2.6
2	商圏	65	34.4
3	雇用	11	5.8
4	輸送・移動頻度	56	29.6
5	その他	7	3.7
	無回答	73	38.6

Q7 地域経済への影響 [SA]

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	プラス	42	8.1
2	ややプラス	221	42.4
3	変らず	197	37.8
4	ややマイナス	22	4.2
5	マイナス	6	1.2
	無回答	33	6.3

Q8 地域内の雇用(創出と流出) [SA]

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	創出増加	9	1.7
2	創出やや増加	57	10.9
3	同程度	361	69.3
4	流出やや増加	31	6.0
5	流出増加	6	1.2
	無回答	57	10.9

Q9 地域外企業との競争 [SA]

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	激化	18	3.5
2	やや激化	134	25.7
3	変らず	331	63.5
4	やや緩和	1	0.2
5	緩和	1	0.2
	無回答	36	6.9

Q10 地域外から仕事・顧客を確保 [SA]

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	増加	3	0.6
2	やや増加	90	17.3
3	変らず	374	71.8
4	やや減少	14	2.7
5	減少	3	0.6
	無回答	37	7.1

Q11 地域内の仕事・顧客の流出 [SA]

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	増加	8	1.5
2	やや増加	78	15.0
3	変らず	385	73.9
4	やや減少	14	2.7
5	減少	1	0.2
	無回答	35	6.7

Q12 岐阜県全体における経済効果 [SA]

		度数	%
集計母数		521	100.0
1	プラス	64	12.3
2	ややプラス	254	48.8
3	変らず	157	30.1
4	ややマイナス	12	2.3
5	マイナス	4	0.8
	無回答	30	5.8

参考資料 2

東海北陸自動車道の全通による観光交流産業への影響に関するアンケート

2-1 調査の概要

調査方法	郵送調査
調査対象	岐阜県観光レクリエーション動態調査(平成19年)における観光地点のうち年間入込客延べ人数が3万人以上のもの及び(社)岐阜県観光連盟発行の「岐阜県観光オールガイド」・「ぎふ温泉ガイド」に掲載されている施設
調査依頼数	521サンプル
総回収数	319サンプル
調査時点	2008年12月05日

2-2 回答施設の属性

F1 種別

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	自然	32	10.0
2	文化・歴史	31	9.7
3	産業観光	18	5.6
4	スポーツ・レクリエーション	37	11.6
5	温泉	43	13.5
6	買い物	38	11.9
7	行事・祭事	13	4.1
8	イベント	37	11.6
9	旅館・ホテル	70	21.9

F2 地区

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	岐阜地区	49	15.4
2	西濃地区	56	17.6
3	中濃地区	80	25.1
4	東濃地区	55	17.2
5	飛騨地区	57	17.9
6	下呂地区	22	6.9

2-3 全体集計結果

Q1 東海北陸自動車道の全通が施設及び地域に与える影響・経済効果
業況への影響 [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	プラス	29	9.1
2	ややプラス	82	25.7
3	変らず	150	47.0
4	ややマイナス	28	8.8
5	マイナス	20	6.3
	無回答	10	3.1

利用客数(来場者数) [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	増加	22	6.9
2	やや増加	79	24.8
3	変らず	151	47.3
4	やや減少	33	10.3
5	減少	22	6.9
	無回答	12	3.8

宿泊日数・滞在時間 [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	増加	3	0.9
2	やや増加	26	8.2
3	変らず	221	69.3
4	やや減少	26	8.2
5	減少	11	3.4
	無回答	32	10.0

平均客単価 [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	増加	3	0.9
2	やや増加	23	7.2
3	変らず	220	69.0
4	やや減少	38	11.9
5	減少	10	3.1
	無回答	25	7.8

交流圏・商圏への影響 [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	拡大	16	5.0
2	やや拡大	82	25.7
3	変らず	167	52.4
4	やや縮小	23	7.2
5	縮小	7	2.2
	無回答	24	7.5

経営戦略への影響 [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	プラス	80	25.1
2	マイナス	33	10.3
3	なし	175	54.9
	無回答	31	9.7

-2 プラスまたはマイナスの内容 [MA]

		度数	%
集計母数		113	100.0
1	設備投資	8	7.1
2	商圏	54	47.8
3	売上	61	54.0
4	料金	4	3.5
5	雇用	2	1.8
6	その他	4	3.5
	無回答	9	8.0

地域内の観光への影響 [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	プラス	35	11.0
2	ややプラス	122	38.2
3	変らず	103	32.3
4	ややマイナス	30	9.4
5	マイナス	15	4.7
	無回答	14	4.4

県内の他地域との競争 [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	激化	8	2.5
2	やや激化	93	29.2
3	変らず	197	61.8
4	やや緩和	5	1.6
5	緩和	0	0.0
	無回答	16	5.0

県外の観光地との競争 [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	激化	9	2.8
2	やや激化	84	26.3
3	変らず	205	64.3
4	やや緩和	4	1.3
5	緩和	0	0.0
	無回答	17	5.3

地域内への観光入込み [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	増加	18	5.6
2	やや増加	104	32.6
3	変らず	129	40.4
4	やや減少	37	11.6
5	減少	15	4.7
	無回答	16	5.0

地域外への観光客流出 [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	増加	10	3.1
2	やや増加	86	27.0
3	変らず	193	60.5
4	やや減少	11	3.4
5	減少	0	0.0
	無回答	19	6.0

地域経済全体への影響 [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	プラス	18	5.6
2	ややプラス	104	32.6
3	変らず	133	41.7
4	ややマイナス	36	11.3
5	マイナス	10	3.1
	無回答	18	5.6

県の観光交流産業全体への経済効果 [SA]

		度数	%
集計母数		319	100.0
1	プラス	50	15.7
2	ややプラス	148	46.4
3	変らず	76	23.8
4	ややマイナス	15	4.7
5	マイナス	0	0.0
	無回答	30	9.4

Q2 東海北陸自動車道全通前の最近5年程度のおおむねの推移
利用客数(来場者数) [SA]

	度数	%
集計母数	319	100.0
1 増加傾向	84	26.3
2 減少傾向	93	29.2
3 横ばい	126	39.5
無回答	16	5.0

売上高 [SA]

	度数	%
集計母数	319	100.0
1 増加傾向	68	21.3
2 減少傾向	100	31.3
3 横ばい	117	36.7
無回答	34	10.7

Q3 今年度の見通しとその主な増減要因
利用客数(来場者数) [SA]

	度数	%
集計母数	319	100.0
1 増加傾向	67	21.0
2 減少傾向	119	37.3
3 横ばい	119	37.3
無回答	14	4.4

-2 利用客数(来場者数)の増減要因 [MA]

	度数	%
集計母数	319	100.0
1 景気、物価	138	43.3
2 嗜好の変化	22	6.9
3 天候	62	19.4
4 東海北陸自動車道の全通	76	23.8
5 イベント・キャンペーンの実施	28	8.8
6 施設のリニューアル、サービスの充実	16	5.0
7 料金の見直し	2	0.6
8 近隣施設の開業	30	9.4
9 その他	19	6.0
10 わからない	4	1.3
無回答	69	21.6

売上高 [SA]

	度数	%
集計母数	319	100.0
1 増加傾向	51	16.0
2 減少傾向	127	39.8
3 横ばい	109	34.2
無回答	32	10.0

-2 売上高の増減要因 [MA]

	度数	%
集計母数	319	100.0
1 景気、物価	159	49.8
2 嗜好の変化	28	8.8
3 天候	42	13.2
4 東海北陸自動車道の全通	61	19.1
5 イベント・キャンペーンの実施	16	5.0
6 施設のリニューアル、サービスの充実	21	6.6
7 料金の見直し	8	2.5
8 近隣施設の開業	21	6.6
9 その他	12	3.8
10 わからない	2	0.6
無回答	84	26.3

平均客単価 [SA]

	度数	%
集計母数	319	100.0
1 増加傾向	31	9.7
2 減少傾向	72	22.6
3 横ばい	181	56.7
無回答	35	11.0

平均客単価 [SA]

	度数	%
集計母数	319	100.0
1 増加傾向	23	7.2
2 減少傾向	103	32.3
3 横ばい	159	49.8
無回答	34	10.7

-2 平均客単価の増減要因 [MA]

	度数	%
集計母数	319	100.0
1 景気、物価	155	48.6
2 嗜好の変化	36	11.3
3 天候	26	8.2
4 東海北陸自動車道の全通	34	10.7
5 イベント・キャンペーンの実施	10	3.1
6 施設のリニューアル、サービスの充実	16	5.0
7 料金の見直し	16	5.0
8 近隣施設の開業	15	4.7
9 その他	9	2.8
10 わからない	5	1.6
無回答	105	32.9

Q4 訪れた観光客の出発地(居住地)

昨年 [SA]

		1位		2位		3位		4位		5位	
		度数	%								
集計母数		319	100.0	319	100.0	319	100.0	319	100.0	319	100.0
1	県内	154	48.3	63	19.7	14	4.4	10	3.1	5	1.6
2	愛知	91	28.5	150	47.0	20	6.3	1	0.3	1	0.3
3	三重	1	0.3	10	3.1	77	24.1	34	10.7	19	6.0
4	長野	0	0.0	6	1.9	15	4.7	7	2.2	11	3.4
5	富山	2	0.6	6	1.9	8	2.5	13	4.1	18	5.6
6	石川	0	0.0	1	0.3	5	1.6	8	2.5	11	3.4
7	福井	0	0.0	0	0.0	8	2.5	5	1.6	14	4.4
8	関東地方	7	2.2	14	4.4	24	7.5	36	11.3	33	10.3
9	関西地方	17	5.3	18	5.6	51	16.0	65	20.4	25	7.8
10	その他	5	1.6	2	0.6	11	3.4	10	3.1	30	9.4
	無回答	42	13.2	49	15.4	86	27.0	130	40.8	152	47.6

全通後 [SA]

		1位		2位		3位		4位		5位	
		度数	%								
集計母数		319	100.0	319	100.0	319	100.0	319	100.0	319	100.0
1	県内	153	48.0	58	18.2	17	5.3	7	2.2	3	0.9
2	愛知	89	27.9	148	46.4	17	5.3	4	1.3	1	0.3
3	三重	0	0.0	10	3.1	75	23.5	25	7.8	17	5.3
4	長野	0	0.0	5	1.6	14	4.4	8	2.5	10	3.1
5	富山	4	1.3	8	2.5	21	6.6	22	6.9	17	5.3
6	石川	2	0.6	2	0.6	5	1.6	11	3.4	24	7.5
7	福井	0	0.0	1	0.3	7	2.2	10	3.1	16	5.0
8	関東地方	4	1.3	14	4.4	25	7.8	29	9.1	28	8.8
9	関西地方	14	4.4	18	5.6	42	13.2	59	18.5	26	8.2
10	その他	6	1.9	2	0.6	8	2.5	13	4.1	26	8.2
	無回答	47	14.7	53	16.6	88	27.6	131	41.1	151	47.3

2-4 属性別集計結果

無回答を除く 227 サンプル

上段:度数 下段:%

質問項目(Q1)		業況への影響					利用客数					宿泊日数・滞在時間						
		標本数	プラス	ややプラス	変わら ず	やや マイナス	マイ ナス	増加	やや 増加	変わら ず	やや 減少	減少	増加	やや 増加	変わら ず	やや 減少	減少	
全数		227 100.0	22 9.7	64 28.2	106 46.7	21 9.3	14 6.2	17 7.5	59 26.0	109 48.0	26 11.5	16 7.0	3 1.3	24 10.6	172 75.8	19 8.4	9 4.0	
地域	岐阜	31 100.0	4 12.9	9 29.0	16 51.6	1 3.2	1 3.2	3 9.7	10 32.3	16 51.6	1 3.2	1 3.2	1 3.2	6 19.4	22 71.0	2 6.5	-	
	西濃	37 100.0	-	8 21.6	27 73.0	2 5.4	-	-	6 16.2	29 78.4	2 5.4	-	-	-	35 94.6	2 5.4	-	
	中濃	53 100.0	10 18.9	23 43.4	15 28.3	4 7.5	1 1.9	7 13.2	22 41.5	14 26.4	9 17.0	1 1.9	-	10 18.9	35 66.0	7 13.2	1 1.9	
	東濃	43 100.0	1 2.3	13 30.2	23 53.5	3 7.0	3 7.0	2 4.7	12 27.9	20 46.5	7 16.3	2 4.7	-	3 7.0	34 79.1	4 9.3	2 4.7	
	飛騨	44 100.0	6 13.6	5 11.4	21 47.7	8 18.2	4 9.1	5 11.4	4 9.1	23 52.3	5 11.4	7 15.9	2 4.5	2 4.5	33 75.0	4 9.1	3 6.8	
	下呂	19 100.0	1 5.3	6 31.6	4 21.1	3 15.8	5 26.3	-	5 26.3	7 36.8	2 10.5	5 26.3	-	3 15.8	13 68.4	-	3 15.8	
	種別	自然	19 100.0	-	7 36.8	9 47.4	1 5.3	2 10.5	1 5.3	5 26.3	9 47.4	3 15.8	1 5.3	-	3 15.8	13 68.4	2 10.5	1 5.3
	文化・歴史	23 100.0	2 8.7	6 26.1	12 52.2	1 4.3	2 8.7	2 8.7	6 26.1	12 52.2	1 4.3	2 8.7	1 4.3	2 8.7	18 78.3	1 4.3	1 4.3	
	産業観光	14 100.0	4 28.6	2 14.3	4 28.6	3 21.4	1 7.1	3 21.4	4 28.6	2 14.3	2 14.3	1 7.1	1 7.1	10 71.4	1 7.1	1 7.1		
	スポーツ・レク	24 100.0	1 4.2	12 50.0	8 33.3	2 8.3	1 4.2	10 41.7	11 45.8	-	2 8.3	-	3 12.5	18 75.0	2 8.3	1 4.2		
	温泉	31 100.0	2 6.5	4 12.9	20 64.5	2 6.5	3 9.7	1 3.2	4 12.9	17 54.8	6 19.4	3 9.7	-	1 3.2	28 90.3	2 6.5	-	
	買い物	24 100.0	1 4.2	4 16.7	10 41.7	8 33.3	1 4.2	-	6 25.0	8 33.3	9 37.5	1 4.2	-	-	17 70.8	6 25.0	1 4.2	
	行事・祭事	8 100.0	1 12.5	2 25.0	5 62.5	-	-	-	2 25.0	5 62.5	1 12.5	-	-	1 12.5	6 75.0	1 12.5	-	
	イベント	24 100.0	2 8.3	11 45.8	11 45.8	-	-	3 12.5	8 33.3	12 50.0	1 4.2	-	1 4.2	5 20.8	17 70.8	-	1 4.2	
	旅館・ホテル	60 100.0	9 15.0	16 26.7	27 45.0	4 6.7	4 6.7	6 10.0	15 25.0	31 51.7	3 5.0	5 8.3	-	8 13.3	45 75.0	4 6.7	3 5.0	
全 通 前 の 観 光 動 向	利用客 数	増加傾向	64 100.0	20 31.3	29 45.3	14 21.9	-	1 1.6	17 26.6	30 46.9	15 23.4	-	2 3.1	3 4.7	13 20.3	47 73.4	-	1 1.6
		減少傾向	78 100.0	1 1.3	12 15.4	33 42.3	19 24.4	13 16.7	-	12 15.4	31 39.7	21 26.9	14 17.9	-	4 5.1	50 64.1	16 20.5	8 10.3
		横ばい	85 100.0	1 1.2	23 27.1	59 69.4	2 2.4	-	-	17 20.0	63 74.1	5 5.9	-	-	7 8.2	75 88.2	3 3.5	-
	売上高	増加傾向	54 100.0	15 27.8	25 46.3	13 24.1	-	1 1.9	13 24.1	24 44.4	14 25.9	1 1.9	2 3.7	2 3.7	11 20.4	41 75.9	-	-
		減少傾向	86 100.0	1 1.2	16 18.6	38 44.2	18 20.9	13 15.1	1 1.2	13 15.1	37 43.0	21 24.4	14 16.3	1 1.2	3 3.5	56 65.1	18 20.9	8 9.3
		横ばい	87 100.0	6 6.9	23 26.4	55 63.2	3 3.4	-	3 3.4	22 25.3	58 66.7	4 4.6	-	-	10 11.5	75 86.2	1 1.1	1 1.1
	平均客 単価	増加傾向	22 100.0	4 18.2	9 40.9	6 27.3	3 13.6	-	2 9.1	10 45.5	6 27.3	3 13.6	1 4.5	-	3 13.6	19 86.4	-	-
		減少傾向	57 100.0	1 1.8	13 22.8	25 43.9	12 21.1	6 10.5	1 1.8	10 17.5	25 43.9	14 24.6	7 12.3	-	2 3.5	35 61.4	15 26.3	5 8.8
		横ばい	148 100.0	17 11.5	42 28.4	75 50.7	6 4.1	8 5.4	14 9.5	39 26.4	78 52.7	9 6.1	8 5.4	3 2.0	19 12.8	118 79.7	4 2.7	4 2.7
今 年 度 の 見 通 し	利用客 数	増加傾向	50 100.0	17 34.0	23 46.0	8 16.0	2 4.0	-	14 28.0	26 52.0	9 18.0	1 2.0	-	3 6.0	13 26.0	33 66.0	-	1 2.0
		減少傾向	91 100.0	-	23 25.3	39 42.9	17 18.7	12 13.2	-	18 19.8	37 40.7	22 24.2	14 15.4	-	5 5.5	61 67.0	18 19.8	7 7.7
		横ばい	86 100.0	5 5.8	18 20.9	59 68.6	2 2.3	2 2.3	3 3.5	15 17.4	63 73.3	3 3.5	2 2.3	-	6 7.0	78 90.7	1 1.2	1 1.2
	売上高	増加傾向	39 100.0	14 35.9	19 48.7	5 12.8	1 2.6	-	11 28.2	21 53.8	6 15.4	1 2.6	-	2 5.1	10 25.6	27 69.2	-	-
		減少傾向	101 100.0	1 1.0	25 24.8	47 46.5	16 15.8	12 11.9	1 1.0	21 20.8	47 46.5	18 17.8	14 13.9	-	5 5.0	71 70.3	18 17.8	7 6.9
		横ばい	87 100.0	7 8.0	20 23.0	54 62.1	4 4.6	2 2.3	5 5.7	17 19.5	56 64.4	7 8.0	2 2.3	1 1.1	9 10.3	74 85.1	1 1.1	2 2.3
	平均客 単価	増加傾向	16 100.0	5 31.3	7 43.8	3 18.8	1 6.3	-	2 12.5	9 56.3	3 18.8	1 6.3	1 6.3	-	4 25.0	12 75.0	-	-
		減少傾向	81 100.0	4 4.9	22 27.2	37 45.7	11 13.6	7 8.6	4 4.9	20 24.7	36 44.4	13 16.0	8 9.9	1 1.2	3 3.7	56 69.1	17 21.0	4 4.9
		横ばい	130 100.0	13 10.0	35 26.9	66 50.8	9 6.9	7 5.4	11 8.5	30 23.1	70 53.8	12 9.2	7 5.4	2 1.5	17 13.1	104 80.0	2 1.5	5 3.8

質問項目(Q1)		平均客単価					交流圏・商圏への影響					経営戦略への影響				
		標本数	上昇	やや上昇	変わらず	やや低下	低下	拡大	やや拡大	変わらず	やや縮小	縮小	プラス	マイナス	なし	
全数		227	2	19	171	29	6	14	65	127	15	6	62	27	138	
		100.0	0.9	8.4	75.3	12.8	2.6	6.2	28.6	55.9	6.6	2.6	27.3	11.9	60.8	
地域	岐阜	31	2	2	25	2	-	2	10	18	1	-	5	2	24	
		100.0	6.5	6.5	80.6	6.5	-	6.5	32.3	58.1	3.2	-	16.1	6.5	77.4	
	西濃	37	-	2	33	2	-	-	5	31	-	1	4	2	31	
		100.0	-	5.4	89.2	5.4	-	-	13.5	83.8	-	2.7	10.8	5.4	83.8	
	中濃	53	-	5	38	8	2	4	19	26	3	1	16	6	31	
		100.0	-	9.4	71.7	15.1	3.8	7.5	35.8	49.1	5.7	1.9	30.2	11.3	58.5	
	東濃	43	-	3	32	8	-	1	15	22	3	2	16	6	21	
	100.0	-	7.0	74.4	18.6	-	2.3	34.9	51.2	7.0	4.7	37.2	14.0	48.8		
飛騨	44	-	5	30	7	2	6	11	22	5	-	14	5	25		
	100.0	-	11.4	68.2	15.9	4.5	13.6	25.0	50.0	11.4	-	31.8	11.4	56.8		
下呂	19	-	2	13	2	2	1	5	8	3	2	7	6	6		
	100.0	-	10.5	68.4	10.5	10.5	5.3	26.3	42.1	15.8	10.5	36.8	31.6	31.6		
種別	自然	19	-	1	13	4	1	-	5	12	-	2	2	4	13	
		100.0	-	5.3	68.4	21.1	5.3	-	26.3	63.2	-	10.5	10.5	21.1	68.4	
	文化・歴史	23	-	4	15	3	1	1	7	15	-	-	6	1	16	
		100.0	-	17.4	65.2	13.0	4.3	4.3	30.4	65.2	-	-	26.1	4.3	69.6	
	産業観光	14	-	1	10	3	-	2	5	4	2	1	4	2	8	
		100.0	-	7.1	71.4	21.4	-	14.3	35.7	28.6	14.3	7.1	28.6	14.3	57.1	
	スポーツ・レク	24	-	-	22	2	-	1	10	11	2	-	8	2	14	
		100.0	-	-	91.7	8.3	-	4.2	41.7	45.8	8.3	-	33.3	8.3	58.3	
	温泉	31	-	1	28	2	-	1	6	22	1	1	8	3	20	
		100.0	-	3.2	90.3	6.5	-	3.2	19.4	71.0	3.2	3.2	25.8	9.7	64.5	
	買い物	24	-	2	11	9	2	-	8	10	6	-	6	7	11	
	100.0	-	8.3	45.8	37.5	8.3	-	33.3	41.7	25.0	-	25.0	29.2	45.8		
行事・祭事	8	1	1	5	1	-	-	3	5	-	-	4	-	4		
	100.0	12.5	12.5	62.5	12.5	-	-	37.5	62.5	-	-	50.0	-	50.0		
イベント	24	1	2	20	1	-	2	5	17	-	-	4	1	19		
	100.0	4.2	8.3	83.3	4.2	-	8.3	20.8	70.8	-	-	16.7	4.2	79.2		
旅館・ホテル	60	-	7	47	4	2	7	16	31	4	2	20	7	33		
	100.0	-	11.7	78.3	6.7	3.3	11.7	26.7	51.7	6.7	3.3	33.3	11.7	55.0		
全通前の観光動向	利用客数	増加傾向	64	2	10	49	3	-	13	24	26	-	1	34	2	28
			100.0	3.1	15.6	76.6	4.7	-	20.3	37.5	40.6	-	1.6	53.1	3.1	43.8
		減少傾向	78	-	4	48	20	6	1	18	41	13	5	14	23	41
		100.0	-	5.1	61.5	25.6	7.7	1.3	23.1	52.6	16.7	6.4	17.9	29.5	52.6	
	横ばい	85	-	5	74	6	-	-	23	60	2	-	14	2	69	
		100.0	-	5.9	87.1	7.1	-	-	27.1	70.6	2.4	-	16.5	2.4	81.2	
	売上高	増加傾向	54	1	12	39	2	-	10	22	21	-	1	30	2	22
			100.0	1.9	22.2	72.2	3.7	-	18.5	40.7	38.9	-	1.9	55.6	3.7	40.7
		減少傾向	86	1	4	52	23	6	1	22	45	13	5	15	23	48
		100.0	1.2	4.7	60.5	26.7	7.0	1.2	25.6	52.3	15.1	5.8	17.4	26.7	55.8	
	横ばい	87	-	3	80	4	-	3	21	61	2	-	17	2	68	
		100.0	-	3.4	92.0	4.6	-	3.4	24.1	70.1	2.3	-	19.5	2.3	78.2	
平均客単価	増加傾向	22	1	11	10	-	-	1	7	13	1	-	10	2	10	
		100.0	4.5	50.0	45.5	-	-	4.5	31.8	59.1	4.5	-	45.5	9.1	45.5	
	減少傾向	57	-	-	31	21	5	-	18	30	6	3	11	11	35	
	100.0	-	-	54.4	36.8	8.8	-	31.6	52.6	10.5	5.3	19.3	19.3	61.4		
横ばい	148	1	8	130	8	1	13	40	84	8	3	41	14	93		
	100.0	0.7	5.4	87.8	5.4	0.7	8.8	27.0	56.8	5.4	2.0	27.7	9.5	62.8		
今年度の見直し	利用客数	増加傾向	50	2	8	37	3	-	9	24	16	1	-	30	2	18
			100.0	4.0	16.0	74.0	6.0	-	18.0	48.0	32.0	2.0	-	60.0	4.0	36.0
		減少傾向	91	-	6	56	24	5	1	17	54	14	5	17	22	52
		100.0	-	6.6	61.5	26.4	5.5	1.1	18.7	59.3	15.4	5.5	18.7	24.2	57.1	
	横ばい	86	-	5	78	2	1	4	24	57	-	1	15	3	68	
		100.0	-	5.8	90.7	2.3	1.2	4.7	27.9	66.3	-	1.2	17.4	3.5	79.1	
	売上高	増加傾向	39	1	7	30	1	-	7	19	12	1	-	26	1	12
			100.0	2.6	17.9	76.9	2.6	-	17.9	48.7	30.8	2.6	-	66.7	2.6	30.8
		減少傾向	101	-	6	65	25	5	3	21	60	12	5	19	21	61
		100.0	-	5.9	64.4	24.8	5.0	3.0	20.8	59.4	11.9	5.0	18.8	20.8	60.4	
	横ばい	87	1	6	76	3	1	4	25	55	2	1	17	5	65	
		100.0	1.1	6.9	87.4	3.4	1.1	4.6	28.7	63.2	2.3	1.1	19.5	5.7	74.7	
平均客単価	増加傾向	16	1	8	7	-	-	1	7	7	1	-	10	1	5	
		100.0	6.3	50.0	43.8	-	-	6.3	43.8	43.8	6.3	-	62.5	6.3	31.3	
	減少傾向	81	1	4	49	22	5	4	23	44	7	3	19	13	49	
	100.0	1.2	4.9	60.5	27.2	6.2	4.9	28.4	54.3	8.6	3.7	23.5	16.0	60.5		
横ばい	130	-	7	115	7	1	9	35	76	7	3	33	13	84		
	100.0	-	5.4	88.5	5.4	0.8	6.9	26.9	58.5	5.4	2.3	25.4	10.0	64.6		

上段:度数 下段:%

質問項目(Q1)		地域内の観光への影響					県内の他地域との競争					県外の観光地との競争							
		標本数	プラス	ややプラス	変わらず	ややマイナス	マイナス	激化	やや激化	変わらず	やや緩和	緩和	激化	やや激化	変わらず	やや緩和	緩和		
全数		227 100.0	27 11.9	94 41.4	74 32.6	22 9.7	10 4.4	5 2.2	75 33.0	142 62.6	5 2.2	-	6 2.6	68 30.0	149 65.6	4 1.8	-		
地域	岐阜	31 100.0	4 12.9	16 51.6	10 32.3	1 3.2	-	1 3.2	8 25.8	22 71.0	-	-	1 3.2	7 22.6	23 74.2	-	-		
	西濃	37 100.0	1 2.7	9 24.3	25 67.6	1 2.7	1 2.7	3 8.1	6 16.2	28 75.7	-	-	1 2.7	5 13.5	31 83.8	-	-		
	中濃	53 100.0	10 18.9	31 58.5	7 13.2	4 7.5	1 1.9	-	17 32.1	33 62.3	3 5.7	-	-	16 30.2	35 66.0	2 3.8	-		
	東濃	43 100.0	2 4.7	20 46.5	16 37.2	3 7.0	2 4.7	-	13 30.2	29 67.4	1 2.3	-	2 4.7	12 27.9	29 67.4	-	-		
	飛騨	44 100.0	9 20.5	9 20.5	15 34.1	9 20.5	2 4.5	1 2.3	17 38.6	26 59.1	-	-	1 2.3	18 40.9	24 54.5	1 2.3	-		
	下呂	19 100.0	1 5.3	9 47.4	1 5.3	4 21.1	4 21.1	-	14 73.7	4 21.1	1 5.3	-	1 5.3	10 52.6	7 36.8	1 5.3	-		
	種別	自然	19 100.0	-	9 47.4	6 31.6	2 10.5	2 10.5	1 5.3	7 36.8	11 57.9	-	-	1 5.3	5 26.3	13 68.4	-	-	
	文化・歴史	23 100.0	4 17.4	8 34.8	10 43.5	-	4.3	1 4.3	5 21.7	17 73.9	-	-	1 4.3	5 21.7	17 73.9	-	-		
	産業観光	14 100.0	2 14.3	5 35.7	4 28.6	2 14.3	1 7.1	-	3 21.4	11 78.6	-	-	-	2 14.3	12 85.7	-	-		
	スポーツ・レク	24 100.0	3 12.5	12 50.0	6 25.0	2 8.3	1 4.2	-	9 37.5	14 58.3	1 4.2	-	-	8 33.3	14 58.3	2 8.3	-		
	温泉	31 100.0	1 3.2	11 35.5	16 51.6	2 6.5	1 3.2	-	14 45.2	16 51.6	1 3.2	-	-	12 38.7	19 61.3	-	-		
	買い物	24 100.0	-	8 33.3	8 33.3	7 29.2	1 4.2	-	6 25.0	17 70.8	1 4.2	-	-	6 25.0	18 75.0	-	-		
	行事・祭事	8 100.0	2 25.0	4 50.0	2 25.0	-	-	-	2 25.0	6 75.0	-	-	-	2 25.0	6 75.0	-	-		
	イベント	24 100.0	3 12.5	13 54.2	7 29.2	1 4.2	-	1 4.2	5 20.8	18 75.0	-	-	2 8.3	4 16.7	18 75.0	-	-		
	旅館・ホテル	60 100.0	12 20.0	24 40.0	15 25.0	6 10.0	3 5.0	2 3.3	24 40.0	32 53.3	2 3.3	-	2 3.3	24 40.0	32 53.3	2 3.3	-		
全通前の観光動向	利用客数	増加傾向	64 100.0	18 28.1	34 53.1	10 15.6	1 1.6	1 1.6	2 3.1	23 35.9	38 59.4	1 1.6	-	3 4.7	23 35.9	37 57.8	1 1.6	-	
		減少傾向	78 100.0	2 2.6	25 32.1	25 32.1	17 21.8	9 11.5	2 2.6	34 43.6	40 51.3	2 2.6	-	3 3.8	28 35.9	45 57.7	2 2.6	-	
		横ばい	85 100.0	7 8.2	35 41.2	39 45.9	4 4.7	-	-	1 1.2	18 21.2	64 75.3	2 2.4	-	-	17 20.0	67 78.8	1 1.2	-
	売上高	増加傾向	54 100.0	15 27.8	30 55.6	7 13.0	1 1.9	1 1.9	-	18 33.3	35 64.8	1 1.9	-	-	20 37.0	33 61.1	1 1.9	-	
		減少傾向	86 100.0	1 1.2	32 37.2	28 32.6	16 18.6	9 10.5	3 3.5	37 43.0	45 52.3	1 1.2	-	4 4.7	31 36.0	50 58.1	1 1.2	-	
		横ばい	87 100.0	11 12.6	32 36.8	39 44.8	5 5.7	-	2 2.3	20 23.0	62 71.3	3 3.4	-	2 2.3	17 19.5	66 75.9	2 2.3	-	
	平均客単価	増加傾向	22 100.0	6 27.3	10 45.5	3 13.6	3 13.6	-	-	5 22.7	16 72.7	1 4.5	-	-	7 31.8	15 68.2	-	-	
		減少傾向	57 100.0	-	20 35.1	22 38.6	9 15.8	6 10.5	2 3.5	22 38.6	33 57.9	-	-	4 7.0	20 35.1	33 57.9	-	-	
		横ばい	148 100.0	21 14.2	64 43.2	49 33.1	10 6.8	4 2.7	3 2.0	48 32.4	93 62.8	4 2.7	-	2 1.4	41 27.7	101 68.2	4 2.7	-	
	今年度の見直し	利用客数	増加傾向	50 100.0	18 36.0	25 50.0	4 8.0	3 6.0	-	1 2.0	16 32.0	30 60.0	3 6.0	-	3 6.0	16 32.0	29 58.0	2 4.0	-
			減少傾向	91 100.0	1 1.1	35 38.5	32 35.2	14 15.4	9 9.9	2 2.2	36 39.6	52 57.1	1 1.1	-	3 3.3	30 33.0	56 61.5	2 2.2	-
			横ばい	86 100.0	8 9.3	34 39.5	38 44.2	5 5.8	1 1.2	2 2.3	23 26.7	60 69.8	1 1.2	-	-	22 25.6	64 74.4	-	-
売上高		増加傾向	39 100.0	15 38.5	20 51.3	3 7.7	1 2.6	-	-	11 28.2	26 66.7	2 5.1	-	1 2.6	11 28.2	26 66.7	1 2.6	-	
		減少傾向	101 100.0	1 1.0	40 39.6	37 36.6	14 13.9	9 8.9	2 2.0	38 37.6	60 59.4	1 1.0	-	3 3.0	32 31.7	64 63.4	2 2.0	-	
		横ばい	87 100.0	11 12.6	34 39.1	34 39.1	7 8.0	1 1.1	3 3.4	26 29.9	56 64.4	2 2.3	-	2 2.3	25 28.7	59 67.8	1 1.1	-	
平均客単価		増加傾向	16 100.0	5 31.3	9 56.3	1 6.3	1 6.3	-	-	5 31.3	10 62.5	1 6.3	-	-	5 31.3	11 68.8	-	-	
		減少傾向	81 100.0	3 3.7	33 40.7	28 34.6	11 13.6	6 7.4	3 3.7	29 35.8	49 60.5	-	-	4 4.9	27 33.3	49 60.5	1 1.2	-	
		横ばい	130 100.0	19 14.6	52 40.0	45 34.6	10 7.7	4 3.1	2 1.5	41 31.5	83 63.8	4 3.1	-	2 1.5	36 27.7	89 68.5	3 2.3	-	

上段:度数 下段:%

質問項目(Q1)		地域内への観光入込み					地域外への観光客流出					地域経済全体への影響								
		標本数	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	増加	やや増加	変わらず	やや減少	減少	プラス	ややプラス	変わらず	ややマイナス	マイナス			
全数		227 100.0	17 7.5	81 35.7	91 40.1	28 12.3	10 4.4	8 3.5	69 30.4	143 63.0	7 3.1	-	16 7.0	86 37.9	92 40.5	26 11.5	7 3.1			
地域	岐阜	31 100.0	2 6.5	12 38.7	16 51.6	1 3.2	-	1 3.2	9 29.0	21 67.7	-	-	2 6.5	15 48.4	14 45.2	-	-			
	西濃	37 100.0	- 24.3	9 24.3	25 67.6	2 5.4	1 2.7	1 2.7	9 24.3	27 73.0	-	-	- 32.4	12 62.2	23 62.2	2 5.4	-			
	中濃	53 100.0	4 7.5	32 60.4	12 22.6	5 9.4	-	1 1.9	16 30.2	33 62.3	3 5.7	-	4 7.5	31 58.5	13 24.5	5 9.4	-			
	東濃	43 100.0	2 4.7	13 30.2	20 46.5	6 14.0	2 4.7	- 30.2	13 69.8	30 -	-	-	1 2.3	13 30.2	22 51.2	6 14.0	1 2.3			
	飛騨	44 100.0	9 20.5	9 20.5	15 34.1	9 20.5	2 4.5	3 6.8	14 31.8	23 52.3	4 9.1	-	8 18.2	10 22.7	15 34.1	9 20.5	2 4.5			
	下呂	19 100.0	- 31.6	6 15.8	3 15.8	5 26.3	5 26.3	2 10.5	8 42.1	9 47.4	-	-	1 5.3	5 26.3	5 26.3	4 21.1	4 21.1			
	種別	自然	19 100.0	1 5.3	8 42.1	8 42.1	1 5.3	1 5.3	6 31.6	12 63.2	-	-	-	8 42.1	8 42.1	3 15.8	-	-		
	文化・歴史	23 100.0	2 8.7	7 30.4	10 43.5	2 8.7	2 8.7	8 34.8	11 47.8	1 4.3	-	2 8.7	8 34.8	10 43.5	1 4.3	2 8.7	-			
	産業観光	14 100.0	2 14.3	4 28.6	5 35.7	2 14.3	1 7.1	- 21.4	3 78.6	11 -	-	1 7.1	4 28.6	6 42.9	2 14.3	1 7.1	-			
	スポーツ・レク	24 100.0	1 4.2	11 45.8	9 37.5	2 8.3	1 4.2	7 29.2	14 58.3	2 8.3	-	3 12.5	11 45.8	7 29.2	2 8.3	1 4.2	-			
	温泉	31 100.0	1 3.2	7 22.6	18 58.1	4 12.9	1 3.2	- 35.5	11 58.1	18 6.5	-	1 3.2	10 32.3	16 51.6	3 9.7	1 3.2	-			
	買い物	24 100.0	- 29.2	7 33.3	8 33.3	8 33.3	1 4.2	8 33.3	13 54.2	2 8.3	-	- 29.2	7 37.5	9 29.2	7 29.2	1 4.2	-			
	行事・祭事	8 100.0	1 12.5	4 50.0	2 25.0	1 12.5	-	- 100.0	8 -	-	-	1 12.5	4 50.0	3 37.5	-	-	-			
	イベント	24 100.0	3 12.5	9 37.5	11 45.8	1 4.2	-	4 16.7	19 79.2	-	-	2 8.3	12 50.0	9 37.5	1 4.2	-	-			
	旅館・ホテル	60 100.0	6 10.0	24 40.0	20 33.3	7 11.7	3 5.0	1 1.7	22 36.7	37 61.7	-	6 10.0	22 36.7	24 40.0	7 11.7	1 1.7	-			
全通前の観光動向	利用客数	増加傾向	64 100.0	15 23.4	31 48.4	16 25.0	1 1.6	1 1.6	3 4.7	17 26.6	43 67.2	1 1.6	-	11 17.2	37 57.8	14 21.9	1 1.6	1 1.6		
		減少傾向	78 100.0	1 1.3	21 26.9	26 33.3	22 28.2	8 10.3	8 10.3	5 6.4	26 33.3	41 52.6	6 7.7	-	3 3.8	17 21.8	30 38.5	22 28.2	6 7.7	
		横ばい	85 100.0	1 1.2	29 34.1	49 57.6	5 5.9	1 1.2	1 1.2	- 30.6	59 69.4	-	-	2 2.4	32 37.6	48 56.5	3 3.5	-	-	
	売上高	増加傾向	54 100.0	13 24.1	25 46.3	13 24.1	1 1.9	2 3.7	2 3.7	13 24.1	38 70.4	1 1.9	-	9 16.7	31 57.4	12 22.2	1 1.9	1 1.9		
		減少傾向	86 100.0	1 1.2	25 29.1	30 34.9	22 25.6	8 9.3	8 9.3	6 7.0	32 37.2	43 50.0	5 5.8	-	2 2.3	20 23.3	37 43.0	21 24.4	6 7.0	
		横ばい	87 100.0	3 3.4	31 35.6	48 55.2	5 5.7	-	-	24 27.6	62 71.3	1 1.1	-	5 5.7	35 40.2	43 49.4	4 4.6	-	-	
	平均客単価	増加傾向	22 100.0	5 22.7	9 40.9	4 18.2	3 13.6	1 4.5	1 4.5	3 13.6	17 77.3	1 4.5	-	2 9.1	12 54.5	5 22.7	3 13.6	-	-	
		減少傾向	57 100.0	1 1.8	16 28.1	25 43.9	11 19.3	4 7.0	4 7.0	2 3.5	15 26.3	36 63.2	4 7.0	-	- 24.6	14 47.4	13 22.8	3 5.3	-	
		横ばい	148 100.0	11 7.4	56 37.8	62 41.9	14 9.5	5 3.4	5 3.4	51 34.5	90 60.8	2 1.4	-	14 9.5	60 40.5	10 40.5	4 6.8	4 2.7	-	
	今年度の見直し	利用客数	増加傾向	50 100.0	11 22.0	28 56.0	9 18.0	2 4.0	-	2 4.0	17 34.0	30 60.0	1 2.0	-	9 18.0	31 62.0	8 16.0	2 4.0	-	
			減少傾向	91 100.0	2 2.2	22 24.2	37 40.7	20 22.0	10 11.0	10 11.0	5 5.5	32 35.2	50 54.9	4 4.4	-	- 26.4	24 44.0	40 22.0	7 7.7	-
			横ばい	86 100.0	4 4.7	31 36.0	45 52.3	6 7.0	-	-	1 1.2	20 23.3	63 73.3	2 2.3	-	7 8.1	31 36.0	44 51.2	4 4.7	-
売上高		増加傾向	39 100.0	9 23.1	24 61.5	5 12.8	1 2.6	-	1 2.6	12 30.8	25 64.1	1 2.6	-	7 17.9	27 69.2	4 10.3	1 2.6	-		
		減少傾向	101 100.0	4 4.0	26 25.7	41 40.6	20 19.8	10 9.9	10 9.9	5 5.0	35 34.7	57 56.4	4 4.0	-	2 2.0	28 27.7	45 44.6	19 18.8	7 6.9	
		横ばい	87 100.0	4 4.6	31 35.6	45 51.7	7 8.0	-	-	2 2.3	22 25.3	61 70.1	2 2.3	-	7 8.0	31 35.6	43 49.4	6 6.9	-	
平均客単価		増加傾向	16 100.0	4 25.0	9 56.3	2 12.5	1 6.3	-	-	4 25.0	12 75.0	-	-	2 12.5	12 75.0	1 6.3	1 6.3	-	-	
		減少傾向	81 100.0	4 4.9	24 29.6	35 43.2	13 16.0	5 6.2	5 6.2	4 4.9	24 29.6	49 60.5	4 4.9	-	2 2.5	24 29.6	38 46.9	14 17.3	3 3.7	
		横ばい	130 100.0	9 6.9	48 36.9	54 41.5	14 10.8	5 3.8	5 3.8	41 31.5	82 63.1	3 2.3	-	12 9.2	50 38.5	53 40.8	11 8.5	4 3.1	-	

上段:度数 下段:%

質問項目(Q1)		県の観光交流産業全体への経済効果						
		標本数	プラス	ややプラス	変わらず	ややマイナス	マイナス	
全数		227	45	112	58	12	-	
		100.0	19.8	49.3	25.6	5.3	-	
地域	岐阜	31	5	18	8	-	-	
		100.0	16.1	58.1	25.8	-	-	
	西濃	37	9	13	14	1	-	
		100.0	24.3	35.1	37.8	2.7	-	
	中濃	53	12	25	13	3	-	
		100.0	22.6	47.2	24.5	5.7	-	
	東濃	43	5	22	12	4	-	
	100.0	11.6	51.2	27.9	9.3	-		
飛騨	44	13	21	9	1	-		
	100.0	29.5	47.7	20.5	2.3	-		
下呂	19	1	13	2	3	-		
	100.0	5.3	68.4	10.5	15.8	-		
種別	自然	19	4	11	4	-	-	
		100.0	21.1	57.9	21.1	-	-	
	文化・歴史	23	5	8	5	5	-	
		100.0	21.7	34.8	21.7	21.7	-	
	産業観光	14	5	3	6	-	-	
		100.0	35.7	21.4	42.9	-	-	
	スポーツ・レク	24	4	14	6	-	-	
		100.0	16.7	58.3	25.0	-	-	
	温泉	31	5	16	9	1	-	
		100.0	16.1	51.6	29.0	3.2	-	
買い物	24	1	15	4	4	-		
	100.0	4.2	62.5	16.7	16.7	-		
行事・祭事	8	2	4	2	-	-		
	100.0	25.0	50.0	25.0	-	-		
イベント	24	4	11	9	-	-		
	100.0	16.7	45.8	37.5	-	-		
旅館・ホテル	60	15	30	13	2	-		
	100.0	25.0	50.0	21.7	3.3	-		
全通前の観光動向	利用客数	増加傾向	64	22	27	15	-	-
			100.0	34.4	42.2	23.4	-	-
		減少傾向	78	15	37	18	8	-
		100.0	19.2	47.4	23.1	10.3	-	
	横ばい	85	8	48	25	4	-	
		100.0	9.4	56.5	29.4	4.7	-	
	売上高	増加傾向	54	17	24	13	-	-
			100.0	31.5	44.4	24.1	-	-
		減少傾向	86	15	42	21	8	-
		100.0	17.4	48.8	24.4	9.3	-	
	横ばい	87	13	46	24	4	-	
		100.0	14.9	52.9	27.6	4.6	-	
平均客単価	増加傾向	22	6	11	4	1	-	
		100.0	27.3	50.0	18.2	4.5	-	
	減少傾向	57	12	25	14	6	-	
	100.0	21.1	43.9	24.6	10.5	-		
横ばい	148	27	76	40	5	-		
	100.0	18.2	51.4	27.0	3.4	-		
今年度の見通し	利用客数	増加傾向	50	17	26	7	-	-
			100.0	34.0	52.0	14.0	-	-
		減少傾向	91	17	46	20	8	-
		100.0	18.7	50.5	22.0	8.8	-	
	横ばい	86	11	40	31	4	-	
		100.0	12.8	46.5	36.0	4.7	-	
	売上高	増加傾向	39	13	19	7	-	-
			100.0	33.3	48.7	17.9	-	-
		減少傾向	101	17	53	22	9	-
		100.0	16.8	52.5	21.8	8.9	-	
	横ばい	87	15	40	29	3	-	
		100.0	17.2	46.0	33.3	3.4	-	
平均客単価	増加傾向	16	5	8	2	1	-	
		100.0	31.3	50.0	12.5	6.3	-	
	減少傾向	81	15	42	18	6	-	
	100.0	18.5	51.9	22.2	7.4	-		
横ばい	130	25	62	38	5	-		
	100.0	19.2	47.7	29.2	3.8	-		

2-5 今年度の見通しと増減要因

Q3- 利用客数(見通し) × 増減要因

上段:度数 下段:%

		増減要因 [MA]											
		集計母数	景気、物価	嗜好の変化	天候	東海北陸自動車道の全通	イベント・キャンペーンの実施	施設のリニューアル、サービスの充実	料金の見直し	近隣施設の開業	その他	わからない	無回答
利用客数 (見通し) [SA]	全数	319 100.0	138 43.3	22 6.9	62 19.4	76 23.8	28 8.8	16 5.0	2 0.6	30 9.4	19 6.0	4 1.3	69 21.6
	増加する	67 100.0	4 6.0	2 3.0	13 19.4	37 55.2	18 26.9	10 14.9	2 3.0	1 1.5	10 14.9	-	3 4.5
	減少する	119 100.0	94 79.0	8 6.7	24 20.2	31 26.1	2 1.7	1 0.8	-	22 18.5	4 3.4	-	4 3.4
	横ばい	119 100.0	40 33.6	12 10.1	25 21.0	8 6.7	8 6.7	5 4.2	-	7 5.9	5 4.2	4 3.4	48 40.3
	無回答	14 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14 100.0

Q3- 売上高(見通し) × 増減要因

		増減要因 [MA]											
		集計母数	景気、物価	嗜好の変化	天候	東海北陸自動車道の全通	イベント・キャンペーンの実施	施設のリニューアル、サービスの充実	料金の見直し	近隣施設の開業	その他	わからない	無回答
売上高 (見通し) [SA]	全数	319 100.0	159 49.8	28 8.8	42 13.2	61 19.1	16 5.0	8 6.6	21 2.5	21 6.6	12 3.8	2 0.6	84 26.3
	増加する	51 100.0	4 7.8	4 7.8	8 15.7	27 52.9	12 23.5	11 21.6	2 3.9	-	7 13.7	-	2 3.9
	減少する	127 100.0	111 87.4	11 8.7	19 15.0	27 21.3	-	5 3.9	1 0.8	18 14.2	3 2.4	-	4 3.1
	横ばい	109 100.0	44 40.4	13 11.9	15 13.8	7 6.4	4 3.7	5 4.6	5 4.6	3 2.8	2 1.8	2 1.8	46 42.2
	無回答	32 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32 100.0

Q3- 平均客単価(見通し) × 増減要因

		増減要因 [MA]											
		集計母数	景気、物価	嗜好の変化	天候	東海北陸自動車道の全通	イベント・キャンペーンの実施	施設のリニューアル、サービスの充実	料金の見直し	近隣施設の開業	その他	わからない	無回答
平均客単価 (見通し) [SA]	全数	319 100.0	155 48.6	36 11.3	26 8.2	34 10.7	10 3.1	16 5.0	16 5.0	15 4.7	9 2.8	5 1.6	105 32.9
	増加する	23 100.0	4 17.4	3 13.0	2 8.7	9 39.1	6 26.1	5 21.7	4 17.4	-	4 17.4	1 4.3	-
	減少する	103 100.0	87 84.5	18 17.5	8 7.8	14 13.6	-	2 1.9	4 3.9	10 9.7	3 2.9	1 1.0	6 5.8
	横ばい	159 100.0	64 40.3	15 9.4	16 10.1	11 6.9	4 2.5	9 5.7	8 5.0	5 3.1	2 1.3	3 1.9	65 40.9
	無回答	34 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	34 100.0

東海北陸自動車道全通による経済効果に関する考察
- 岐阜県内企業と観光産業への意識調査より -

発行 財団法人 岐阜県産業経済振興センター

〒500-8505 岐阜市藪田南5丁目14番53号

岐阜県県民ふれあい会館10階

TEL: 058-277-1085 FAX: 058-273-5961

E-mail: chosa@gpc-gifu.or.jp

URL: <http://www.gpc-gifu.or.jp>

担当 地域産業支援センター 調査研究担当

発行日 平成21(2009)年3月

無許可で複製することを禁じます

この報告書は、岐阜県からの補助金を受けて
います

平成21年3月

財団法人岐阜県産業経済振興センター